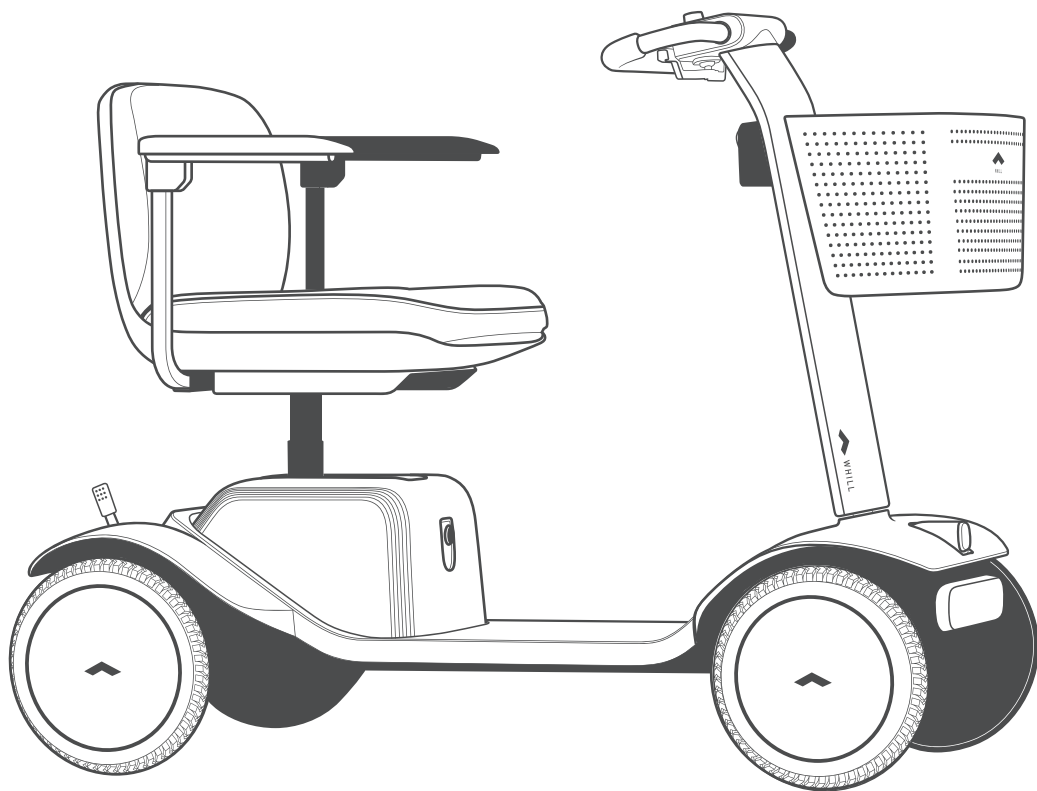




取扱説明書

WHILL Model S

jp-JP

はじめに

この度は、WHILL Model S をご利用いただき、誠にありがとうございます。本製品は、電動車椅子の操作が可能な方を対象に、移動手段としてお使いいただくことを想定しております。

本取扱説明書では、本製品の利用者向けに、速度や方向を制御するコントローラーなどの重要な機能について、安全にお使いいただくための方法を説明しています。また、利用者ご自身で実施していただける基本点検、異常時の対処方法、お手入れ方法についても説明しています。

そのほか、取扱店、営業担当者などが本製品の重要な機能を詳細に理解するために本書を役立てていただくこともできます。

本書では、本製品の各部について、文章、図、標準的な用語を使用して説明しています。

当社は利用者の安全、快適性、使いやすさを大切にしています。ご使用前に本書をよくお読みになり、正しく安全にご使用ください。また、本書は、いつでも確認できる場所に大切に保管してください。

- 本書には、機密情報および特許権や著作権の保護対象である情報が含まれており、書面による WHILL 株式会社の明示的な許可を得ず本書の一部あるいは全部を複製、複写することを禁止します。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
最新の製品情報については、弊社ウェブサイト (<https://whill.inc>) をご覧ください。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一、ご不明な点や、誤り、お気づきの点がございましたら、WHILL コンタクトデスクまでご連絡ください。

本書の見かた

本書では、以下のような記号を使って説明しています。記号の付いた指示は必ずお守りください。

記 号	内 容
 警 告	指示を守らなかった場合に、人が重度の傷害を負う可能性が想定される内容です。
 注 意	指示を守らなかった場合に、人が軽度または中度の傷害をおったり物的損害の発生が想定される内容です。

	しなければならないことを示しています。
	してはならないことを示しています。

	故障や不具合を防ぐため、および快適に製品を使用するために、必ず読んでいただきたい注意事項や、参考となる情報です。
---	--

目次

はじめに	1
本書の見かた	2
1. 安全上のご注意	6
1.1. EMI（電磁波干渉）について	12
1.1.1. 一般的な質問と回答	12
1.2. 本体のラベルについて	13
2. 製品について	14
2.1. 内容物の確認	14
2.2. 各部の名称・はたらき	14
2.3. アクセサリー	17
3. 組立・調整	18
3.1. 部位の名称	18
3.2. 必要な工具	20
3.3. 組立方法	20
3.3.1. ステアリングユニットの取り付け	21
3.3.2. シャフトカバーの取り付け	23
3.3.3. バスケットの取り付け	25
3.3.4. バッテリーの取り付け	26
3.3.5. シートの取り付け	27
3.3.6. クッションの取り付け	27
3.4. 調整方法	28
3.4.1. シートの高さ調整	29
3.4.2. シートの前後位置の調整	31
3.4.3. フロントライトの調整	33
4. バッテリーの充電	34
4.1. バッテリー、充電器について	36
4.2. 充電方法	37
4.2.1. バッテリーを本体に取り付けたまま充電する場合	38
4.2.2. バッテリーを外して充電する場合	39
4.2.3. 充電ランプの表示	42
5. 操作方法	44
5.1. 乗車前点検	45
5.2. 乗車する	46

5.3.	電源を入れる.....	47
5.3.1.	バッテリー残量を確認する.....	48
5.3.2.	速度を調整する.....	49
5.3.3.	サウンドボタンを使用する.....	49
5.4.	運転する.....	50
5.4.1.	前後へ進む.....	53
5.4.2.	曲がる.....	53
5.4.3.	止まる.....	53
5.4.4.	速度を調整する.....	53
5.4.5.	路面状況ごとの運転.....	54
5.5.	ブレーキを解除する.....	55
5.5.1.	解除方法.....	55
5.6.	荷物を持ち運ぶ.....	56
6.	保管・運搬方法.....	58
6.1.	保管.....	58
6.2.	運搬.....	59
7.	保守・点検.....	62
7.1.	お手入れ.....	62
7.2.	点検.....	63
7.3.	製造者・取扱店が行う修理・メンテナンス・部品交換.....	63
7.4.	廃棄について.....	63
7.5.	保証について.....	63
7.6.	製造年月日の確認方法について.....	64
8.	トラブルシューティング.....	66
9.	仕様・寸法.....	68
9.1.	仕様.....	68
9.2.	寸法.....	70
10.	索引.....	72
11.	お問合せ先.....	74

1. 安全上のご注意

WHILL Model S は安全性に十分配慮して設計、製造されていますが、誤った使いかたをしたり、注意事項を守らないと、人体や家財に損害を与える可能性があります。

安全に関する記載事項は、危害や損傷の大きさと切迫の程度を明示するために「警告」と「注意」に区別しています。警告は、指示を守らなかった場合に、人が重度の障害を負う可能性が想定される内容、注意は、人が軽度または中度の傷害をおったり物的損害の発生が想定される内容です。

WHILL Model S は電動車椅子です。本書に記載の内容を正しく理解してから使用を開始してください。使用が困難な方のご使用は控えてください。また以下に注意してお取り扱いください。

- 一般の舗装路や室内での使用が想定されております。
- 本製品での移動は、道路交通法上は「歩行者」として扱われ、運転免許は必要ありません。「歩行者」としての交通ルールやマナーを守ってください。
- 介助者が本製品を操作する場合は、本書をよく読み、使用上の注意などを十分理解して、本製品を使用してください。また、介助が困難な場合は、操作は控えてください。

1. 本製品の使用にあたって

警 告



- 使用中に異常を感じた場合は、ただちに使用を中止し、取扱店または WHILL コンタクトデスクまでご連絡ください。
故障した状態で使用を続けると、怪我をしたり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- バッテリーや充電器に関する本書の説明をよく読み、指示を守ってください。
充電中、充電直後の充電器に触れると、やけどのおそれがあります。バッテリーや充電器を分解する、火気に近づける、濡らす、衝撃を与える（落とす、釘を刺す、踏む）などの行為は火災の原因となったり、バッテリーが爆発するおそれがあります。
- 運転しないときは本体の電源を切ってください。
コントローラーに誤って触れたときに、本体が思わぬ動きをするおそれがあります。
- 本製品の耐荷重は、乗員と荷物を合わせて 100kg です。本体は耐荷重を守ってご使用ください。
製品が破損するおそれがあります。



- ハンドルやバスケット、コントローラーユニットにもたれる、座るなどして過度な負荷をかけないでください。また、アクセルレバーや速度調整ダイヤルを強い力で操作したり、鋭利なもので操作しないでください。
部品が破損して、操作ができなくなる可能性があります。
- ハンドルやアクセルレバーにステッキや傘、袋やカバンなどをひっかけないでください。
部品が破損したり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- スイッチ、コントローラーユニットのディスプレイ、およびラベルの上からシールを貼ったり、ペイントしないでください。
表示が見えなくなって誤操作の原因となり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 本製品を自動車などの座席として使用しないでください。
製品が破損したり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。右記の記号は、本製品が自動車などの座席としては使用できないことを示しています。



 警 告

- 本製品は一人乗りです。2 人乗り（子供・ペットを含む）はしないでください。
製品が破損したり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 適切な指示や説明なしでは誰にも本製品を運転させないでください。
製品が破損したり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 犬などのペットのリードを引いて走行しないでください。
バランスを崩して転倒・転落したり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

 注 意

- 長期間使用しない場合は、バッテリーを必ず満充電にしてから保管してください。また、少なくとも 1 カ月に 1 回は必ず充電し、充電器が満充電表示となってからさらに 4-6 時間充電してください。
バッテリーの劣化が蓄積され、使用できなくなる可能性があります。
- 人が乗車した状態で製品を持ち上げないでください。
転倒、転落して怪我をしたり、製品が破損するおそれがあります。
- 本体の表面温度に注意して本製品を使用してください。
外部の熱源にさらされることによって、表面温度が極端に熱くなったり冷たくなったりします。

2. 乗車・運転時に守るべきこと

1

警 告



- 本体へ乗り降りする際は、本体の電源を切ってください。
コントローラーに誤って触れたときに、本体の誤動作を引き起こす可能性があります。
- 運転する際は周囲や路面状況を十分に確認し、特に、人混みや壁際などの障害物が近くにある場所、狭い場所、また、平坦ではない道や斜面を走行する際には、低速でゆっくり走行してください。急発進、急停止は避けてください。
思わぬ事故が発生するおそれがあります。特に濡れた坂道では、本体の安定性を維持できない可能性がありますので、十分に注意してください。
- 縁石、段差、勾配、溝などには、垂直に進入し、低速でゆっくり走行してください。
転倒したり、本体が変形する可能性があります。
- 下り坂で停止するときは、アクセルレバーを早めにもとの位置に戻し、余裕を持って停止するように心がけてください。
下り坂では、ブレーキの制動距離が長くなります。思った位置で停止できずに、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- ブレーキの解除は必ず平坦な場所で、電源を切ってから、必要な時のみ行ってください。手動での移動が完了したらすぐにブレーキ解除レバーを後方（施錠マーク位置）に動かしてブレーキをロックしてください。
ブレーキを解除すると本体が自由に動くため、思わぬ事故が発生するおそれがあります。



- 以下の場所や状況下では走行しないでください。
転倒したり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
 - エスカレーターや階段
 - 7.5cm より高い段差
 - 10° 以上の勾配
 - 砂地や沼地などの柔らかい路面
 - 雪道や凍結した路面
 - 左右5° 以上の傾斜地の横断
 - 幅 10cm 以上の溝
 - 急旋回や蛇行運転
 - 下り坂での後進や中高速走行
 - 降雨や濃霧、強風などの悪天候時
- 必要時を除き、ブレーキを解除して本体を押して移動させないでください。
ブレーキがかからないため、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 乗車中に、かがんだり、身を乗り出したり、運動したりしないでください。重心に気をつけて動作を行ってください。
製品の安定性やバランスに影響を与える可能性があります。取りづらいものをとる場合は、周囲の人に介助を求めてください。
- 手に物を持ったり、膝の上に物を置いて運転しないでください。
誤操作や転倒の可能性があります。
- 走行中は携帯電話やスマートフォンなどを使用しないでください。使用するときには安全な場所に停止し、電源スイッチを切ってください。また、イヤホンやヘッドフォンなどを装着し、周囲の音が聞き取りづらい状況で走行しないでください。
思わぬ事故につながるおそれがあります。

 注 意

1



- 下り坂では速度を十分遅くして慎重に前進してください。
転倒したり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- シートに深く腰掛け、背もたれから背中が離れないようにしっかりすわってください。
転倒したり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。



- 気分がすぐれない時、飲酒時や薬物を服用している時は運転しないでください。
判断が鈍り重大な事故を引き起こすことがあります。
- 介助者が同行していても、坂道で停止したままにしないでください。
思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 犬などのペットのリードを引いて走行しないでください。
バランスを崩して転倒・転落したり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。



- WHILL Model S は道路交通法上では歩行者として扱われ、運転免許は必要ありません。歩行者として交通ルールやマナーを守って運転してください。
- 歩道や歩行者道路を走行し、横断歩道を渡ってください。歩道のない道路は、自動車や他の交通機関に十分注意して、右側通行してください。
- 手放しや片手運転、およびわき見運転はしないでください。思わぬ事故の原因となることがあります。
- 夜間は十分に注意して走行してください。

■ 緊急事態の回避方法

緊急時、または故障などで Model S が動かなくなったときは、本体後方右のブレーキ解除レバーを前方（開錠マークの位置）に動かし、手押し移動してください。解除レバーでブレーキを解除することで、本体を手押しで動かせるようになります。できるだけ平坦な地面を移動するようにご注意ください。

1. 電源を切る。
2. 解除レバーでブレーキを解除する。
3. 手押しで安全な場所に移動する。

■ 踏切内や路面電車の線路上での走行についての注意

⚠ 警告

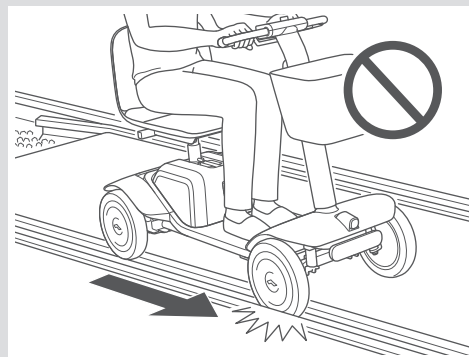
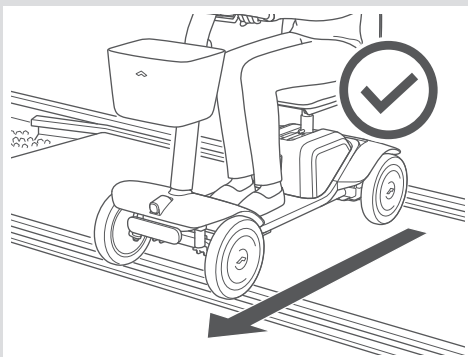


- 万が一、Model S が何らかの理由で踏切内や線路上で動かなくなったときは、ご自身、または介助者や近くの人との協力を得て、速やかに踏切内、線路上から脱出してください。Model S が線路上に残されたままになった場合は、踏切非常ボタンを押してください。
思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 人が乗車した状態で製品を持ち上げないでください。
転倒、転落して怪我をしたり、製品が破損するおそれがあります。

⚠ 注意



- 踏切内で立ち往生する可能性があるため、踏切の横断はできるだけ避けて下さい。やむを得ず踏切を渡る場合は、次のことに気をつけてください。路面電車の線路の横断も同様に気をつけてください。
思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - 踏切、線路を横断する前に、バッテリーの残量が十分か確認してください。
 - できるだけ介助者に同行してもらってください。
 - 横断に時間のかかる走行距離の長い踏切や線路は迂回してください。
 - 警報機が鳴り始めたり、遮断機が降り始めているときは、踏切内に入らないでください。
 - 線路の溝にはまらないように、線路に対して直角に横断してください。



落差 7.5cm 以上の段差や、幅 10cm 以上の溝は、走行状態での移動はできません。この場合、本体を持ち上げるかアユミ板などを使用してください。（「6.2. 運搬」（59 ページ）参照）

3. 組立・調整時の注意

警告

1



- 組立は必ず本書で説明されている手順通りに行い、本書で説明されていない部位についての調整、修理または改造は行わないでください。

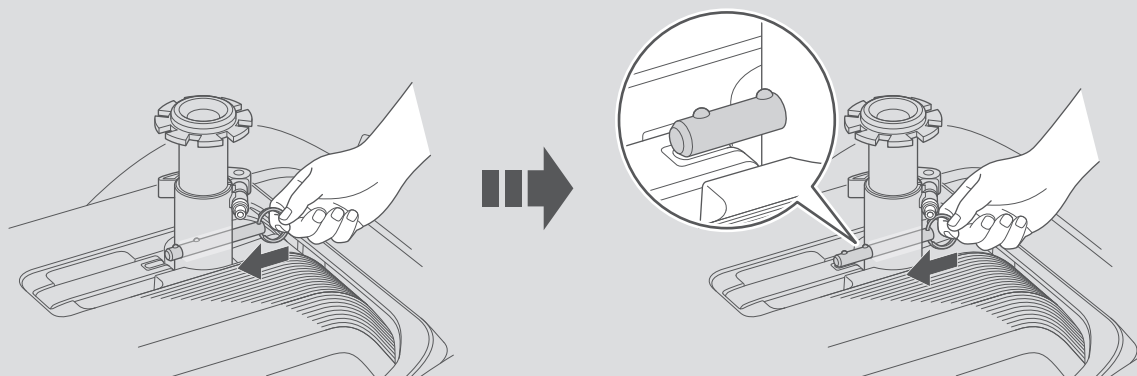
怪我をしたり、本体や部品が損傷して製品の安全性に重大な影響を与えるおそれがあります。また、本書に記載されていない内容の修理や改造を行った場合、保証の対象外となる場合があります。

- 組立・調整は、電源を切り、ブレーキをかけた状態で、平坦な場所で行ってください。

思わぬ事故が発生するおそれがあります。

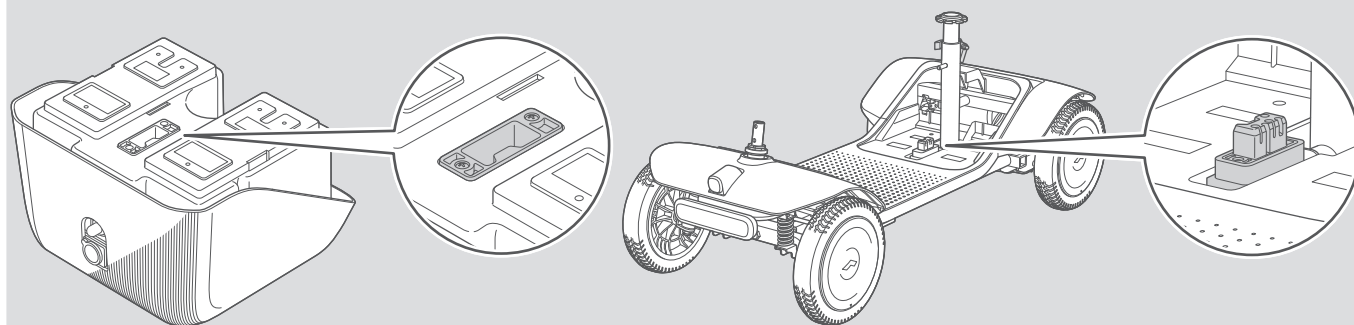
- バッテリーを本体に組みこんだ後や、シートの高さを変更するためにシートポストの高さを変更する場合は、シートポストを適正な高さに設定した後に、シートポスト固定ピンを奥までしっかりと差し込み、シートポスト固定レバーを締めてください。固定ピンが正しく奥まで差し込まれていると、ピン先の円筒部分に丸い突起が2つ見えます。

シートポスト固定ピンが奥まで差し込まれていないと、走行中の振動でバッテリーの接触が不安定になり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。



- バッテリーを本体に組み込んだり、取り外す場合は、バッテリーコネクタポートやバッテリーコネクタソケットに直接触れたり、濡らしたり、金属などの異物を近づけたりしないでください。また、組み立て時には異物が付着していないかを確認してください。

怪我または感電をしたり、本体や部品が損傷するおそれがあります。



バッテリーコネクタポート

バッテリーコネクタソケット

1.1. EMI（電磁波干渉）について

電波が原因で、本製品が想定外の動きをすることがあります。高圧線やテレビ塔など強い電磁波が出ている所での走行は避けてください。電波が本製品の制御機能に干渉するおそれがあります。

また、本製品自体も電磁場を発生させて、近くにある他のデバイスの動作に干渉するおそれがあります。本製品が想定外の動作をして重大な怪我を負うことを防ぐため、下記の事項に十分に留意してください。

- 本製品の電源が入っている間は、市民ラジオ（CB）などのハンドヘルドトランシーバ（送受信機）を操作しないでください。
- ラジオ局やテレビ局など、近くの送信機の場所を把握し、なるべく近づかないようにしてください。

本製品の操作部を操作していないのに動いたり止まったりするなど、本製品が想定外の動作を行った場合は、次のことを行ってください。

- 安全を確認できたら、本体の電源を切る。
- 想定外の動きがあった時に、直前にどのような操作していたかを記録する。
- 操作部を使用して起動できなかった本製品の動作を記録する。
- 本製品の近くの電波発生源となり得る周囲の電子装置を記録する。

これらの記録を基に電波干渉の原因を考え、原因を取り除いてください。それでも解決しないときは、取扱店または WHILL コンタクトデスクにご相談ください。その際、記録したメモをお手元にご用意ください。



電波干渉を受けたと考えられる場合は、電源を切ってバッテリーを取り外してください。

1.1.1. 一般的な質問と回答

本製品が EMI（電磁干渉）や RFI（電波干渉）を受けるのをできる限り避けるため、一般的な質問とその回答を以下に示しますので参考にしてください。

● 電波はどこから来るのですか？

電波は、一方向または双方向の無線機器から放射されます。このような機器としては、トランシーバー、携帯電話、無線通信機能を備えたパソコン、マイクロ波発生源、無線呼出送信機などがあります。電波は電磁（EM）エネルギーの一形態であり、送信アンテナに近いほどエネルギーは強くなります。この電磁場が、電動装置の利用者にとって問題を引き起こす可能性があります。

● 本製品が EMI や RFI の影響を受けるとしたら、どのような動きを想定しておく必要がありますか？

EMI や RFI は動的变化が非常に大きく、次のような条件によっては本製品に影響を与える可能性があります。

- 電波の周波数と強さ
- 電源装置の構造
- 本製品の傾き（地面が水平か斜面か）
- 本製品の電源が入っているか否か、動いているか否か

本製品が影響を受けた場合、異常な動きを示す可能性があります。勝手に動き出したり急停止したりする可能性もあります。また、強い EMI や RFI の発生により、制御システムが損傷する場合もあります。

1.2. 本体のラベルについて

本体を操作するにあたって、危険の存在する箇所に警告ラベルを貼り付けています。また、製品の情報など、製品を使用する上で重要な情報をラベルで示しています。

販売される地域およびモデルによって、本取扱説明書で説明されていないラベルがある可能性があります。



注 意



- ラベルは絶対に剥がさないでください。
重要な情報が記載されています。

2. 製品について

本製品は、道路交通法上は「歩行者」として扱われ、運転免許は必要ありません。「歩行者」としての交通ルールやマナーを守ってください。遊具として使用するなど本来の目的以外に使わないでください。

2.1. 内容物の確認

本製品には本体を含む以下の内容物があります。使用を開始する前に、不足している物や損傷がないか、必ず確認してください。万一、不足している物があったり、本製品が損傷している場合は、取扱店または WHILL コンタクトデスクにご連絡ください。

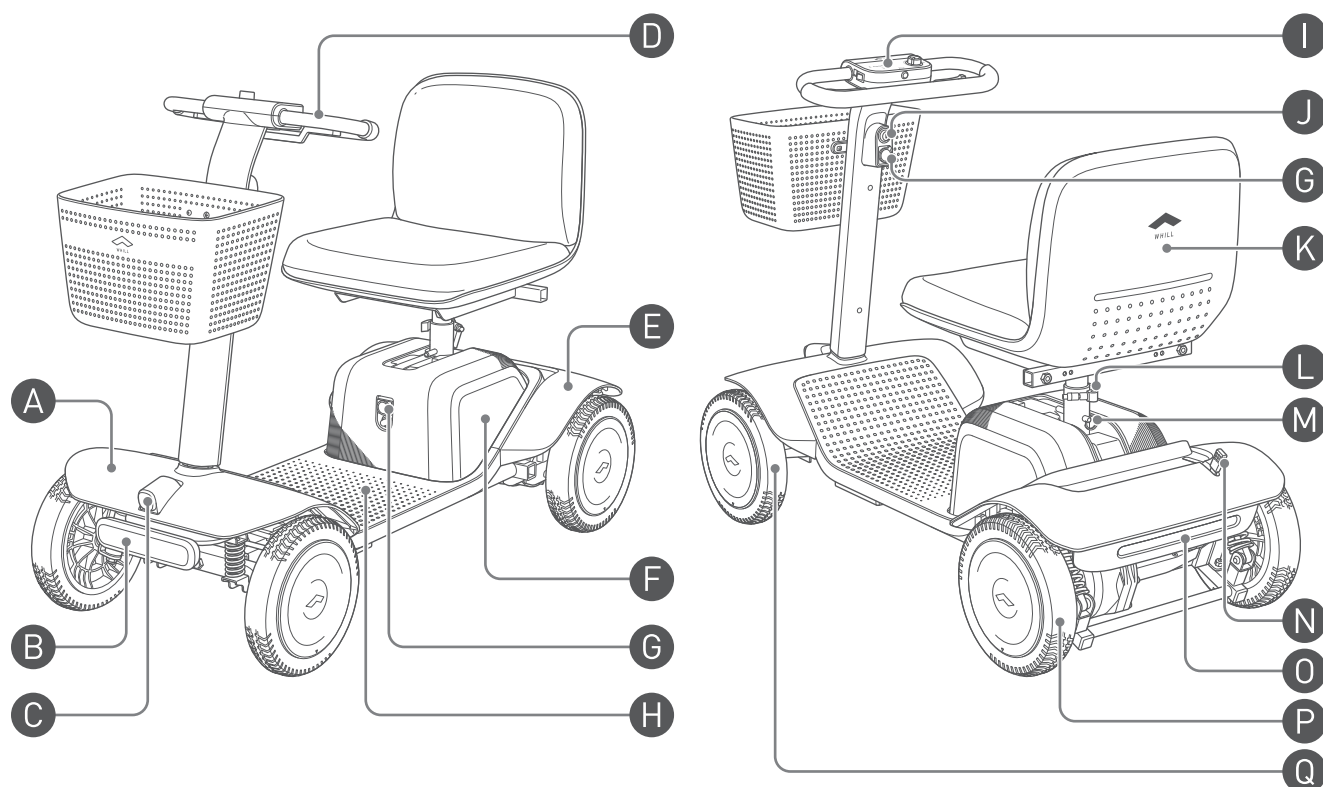
- メインボディ
- ステアリングユニット
- シャフトフロントカバー
- シャフトリアカバー
- ステアリングユニット関連固定ボルト類
ステアリングユニット固定用：(M8 40mm) x 2
シャフトカバー固定用：(M4 45mm) x 3
タッピングネジ (#4 12mm) x 2
(詳細は 3.1、3.3.1、3.3.2 をご覧ください。)
- キー 2本
- シート、シートクッション、バックサポートクッション
- バスケット、固定ボルト (M6 12mm) x 2、
ワッシャー (M6) x 1 (下側のみ)
- バッテリー
- 充電器
- 取扱説明書 (本書)
- 携帯用操作ガイド
- 保証書



開梱する際は、内容物を傷つけないように注意してください。

2.2. 各部の名称・はたらき

■ 本体



A フロントカバー**B バンパー****C フロントライト**

コントローラー側面のスイッチで点灯します。

D ハンドル

進みたい方向に左右に切ること、進みたい方向に本体を向けます。軸となるシャフト部分とあわせてステアリングユニットとなります。

E リアカバー**F バッテリー**

前面に充電ポートがあります。詳しくは「4.1. バッテリー、充電器について」(36 ページ)をご覧ください。

G 充電ポート

ステアリングユニットの背面およびバッテリー前面にあります。どちらかを使って充電してください。

H フロアカバー**I コントローラーユニット**

コントローラーと **3** アクセルレバーからなる。

4 速度調整ダイヤル

最高速度調整を行えます。ダイヤルを時計回りの方向に回すことで、最高 6km/h (前進)、2km/h (後進) まで設定できます。

5 サウンドボタン

ボタンを押すことで警報音を鳴らします。

6 フロントライトスイッチ

フロントカバー中央のライトを点灯します。

J キーシリンダー**K シートフレーム****L シートポスト固定レバー****M シートポスト固定ピン****N ブレーキ解除レバー**

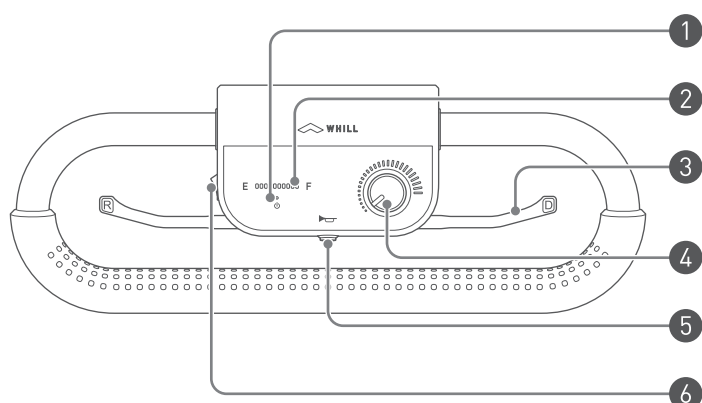
手動で本体を動かす時にブレーキを解除するためのレバー。リアカバーの後方右側にあります。前方で解除、後方に動かすとロックされます。

O リアライト

電源が入ると点灯します。

P 後輪**Q 前輪****■ 充電器**

詳しくは「4.1. バッテリー、充電器について」(36 ページ)をご覧ください。

**1 電源ランプ**

電源が入ったときに点灯します。また、製品に異常が起きた場合も点滅して示します。

2 バッテリー残量表示

コントローラー左側の点灯本数で、バッテリーの残量を示します。左から 2 本が赤色、8 本が白色に点灯します。10 本すべてが点灯すると満充電の状態を示しています。

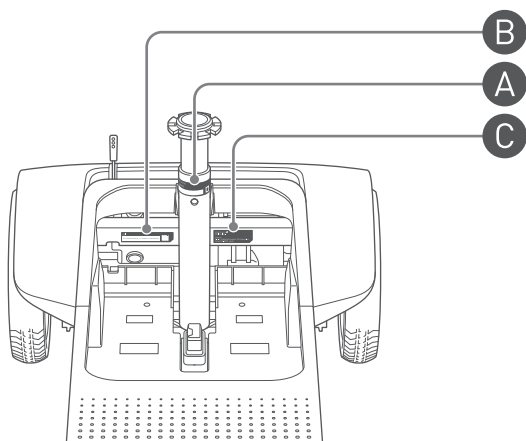
3 アクセルレバー

速度調整ダイヤルの設定を最大値として、手前に引く割合で速度を調整します。レバー右側は前進、レバー左側は後進。レバーをもとの位置に戻すと減速して停止します。

■ 製品情報

製造情報のラベルは、リアフレームの内側に添付されています。

2



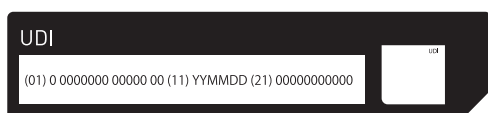
A 基本情報ラベル

本製品の製造番号（シリアルナンバー）を表示しています。WHILL コンタクトデスクにお問合せ時には、本ラベルを参照して製造番号をご確認ください。



B UDI ラベル

本製品の UDI（機器固有識別子）を表示しています。



C 製造販売元ラベル

本製品の製造販売元、住所を表示しています。



2.3. アクセサリー

アクセサリーは、必ず純正品をご使用ください。

本製品に取り付け可能なアクセサリーについては、取扱店または WHILL コンタクトデスクにお問い合わせください。

また WHILL 株式会社ウェブサイト (<https://whill.inc>) もご覧ください。

本製品にはアームレストが標準で付属しています。公道の走行時にはアームレストの着用をお願い致します。

3. 組立・調整

ここでは、本体の組み立ておよび各部の調整方法を説明します。

組み立ては、本書で説明する順序で行ってください。

⚠ 警告



- バッテリーと充電器を箱から出す際や本体に取り付ける際に、バッテリーと充電器を落とさないように注意してください。

怪我や発火などの思わぬ事故が発生するおそれがあります。

- 組立・調整は、ブレーキをかけた状態で、平坦な場所で行ってください。

本体が動き出し、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

- 調整後は必ずすべての部品をもとに戻してください。

部品が不足していると、本体が損傷するおそれがあります。



- 組立・調整は必ず本書で説明されている手順通りに行い、本書で説明されていない部位についての調整、修理または改造は行わないでください。

怪我をしたり、本体や部品が損傷して製品の安全性に重大な影響を与えるおそれがあります。また、本書に記載されていない内容の修理や改造を行った場合、保証の対象外となる場合があります。

- 濡れた状態で組み立てを行わないでください。

製品が破損したり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

- 本体を箱から出す際はしっかりと保持し、落としたり倒したりしないように注意してください。

落として怪我をしたり、製品が破損したりするおそれがあります。

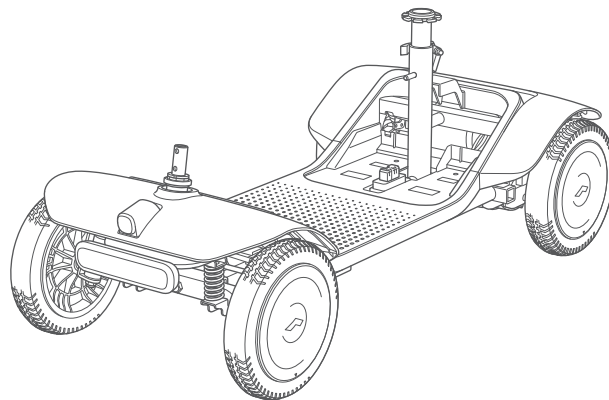


ご自身で組立・調整ができない場合は、取扱店または WHILL コンタクトデスクにお問い合わせください。

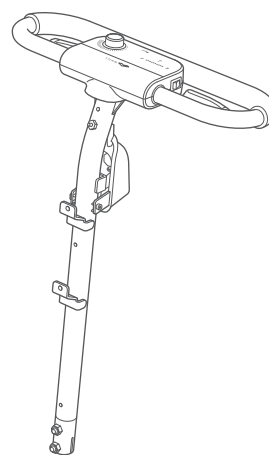
3.1. 部位の名称

本製品には以下の物が同梱されています。

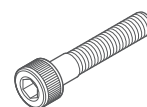
- メインボディ



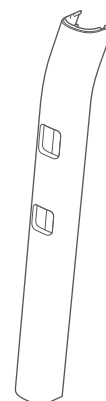
- ステアリングユニット



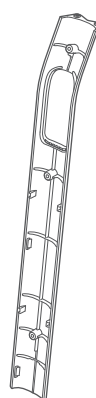
固定ボルト
(M8 40mm) x 2



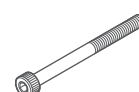
- シャフトフロントカバー



- シャフトリアカバー



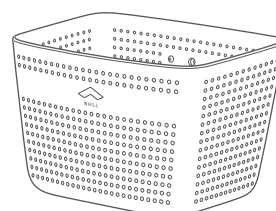
固定ボルト
(M4 45mm) x 3



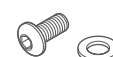
タッピングネジ
(# 4 12mm) x 2



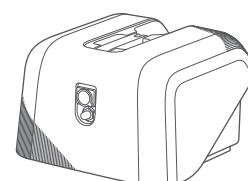
- バスケット



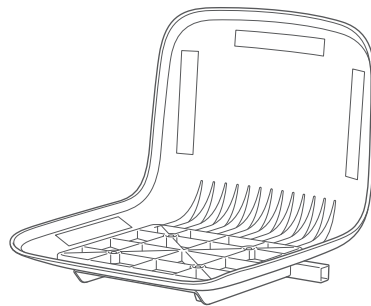
固定ボルト (M6 12mm) x 2
ワッシャー (M6) x 1



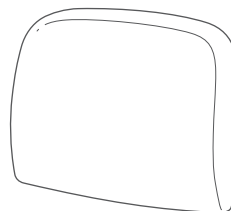
- バッテリー



- シートフレーム



- バックサポートクッション



- シートクッション



3

3.2. 必要な工具

本体の取り付け、調整には以下の工具を使用します。本製品に工具は付属しませんので、ご用意ください。

1. 六角レンチ 3mm、4mm、6mm
2. プラスドライバー

3.3. 組立方法

本体を組み立てる際には、以下に十分に注意してください。

警 告



- **組み立てや調整は、ブレーキをかけた状態で、平坦な場所で行ってください。**
思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- **バッテリーコネクタソケットや、バッテリーコネクタポートに直接触れたり、濡らしたり、金属などの異物を近づけたりしないでください。また、組み立て時には異物が付着していないかを確認してください。**
怪我または感電をしたり、本体や部品が損傷するおそれがあります。
- **作業を行う際は、バッテリーは必ず取り外した状態で行ってください。**
感電、製品が不意に動くことによる怪我や破損のおそれがあります。

⚠ 注 意



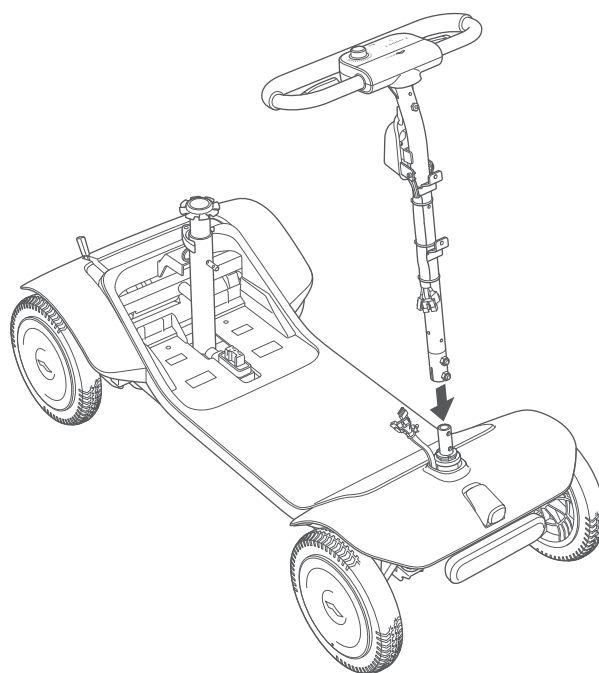
- 安全に使用するために、以下に注意して調整してください。
思わぬ事故が発生するおそれがあります。
 - 必ず体に合うように調整してからご使用ください。
 - 組み立ておよび調整時の固定ボルトやネジの締め忘れや締めすぎに気をつけてください。
 - 組み立てや調整を行う際は必ず本体から降りてください。
- ステアリングユニット、シャフトカバー、バスケット、バッテリー、シートの取り付けの際は、指を挟まないように注意してください。また、無理に力を加えないように気をつけてください。
怪我をしたり、部品が破損するおそれがあります。
- コントローラーユニットのディスプレイを引っ掻いて傷をつけたり、汚れた手で触らないでください。
ディスプレイの表示が見えなくなるおそれがあります。
- コントローラーユニットや組み立て終わったステアリングユニット、バッテリーは分解しないでください。
故障の原因となります。

3

3.3.1. ステアリングユニットの取り付け

組み立ておよび調整時の固定ボルトやネジの締め忘れや締めすぎに気を付けてください。

1. ステアリングユニットをメインボディに差し込みます。



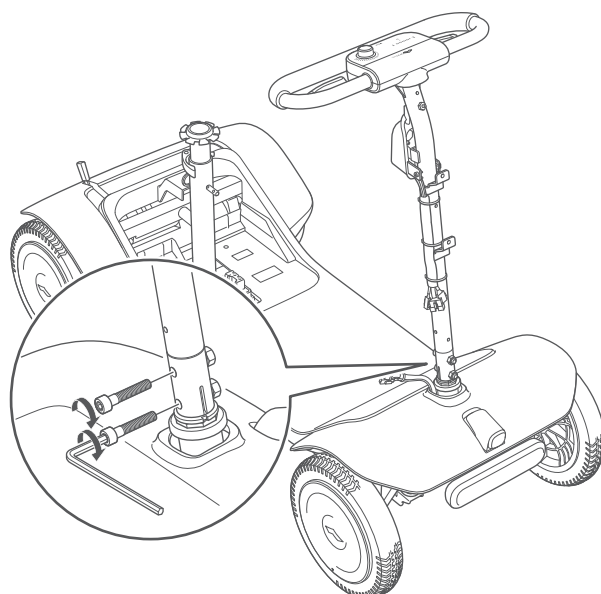
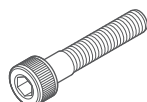
2. ステアリングユニットを固定ボルト（M8 40mm）2 本でメインボディに固定します。

工具：六角レンチ（6mm）

締め付けトルク：15Nm

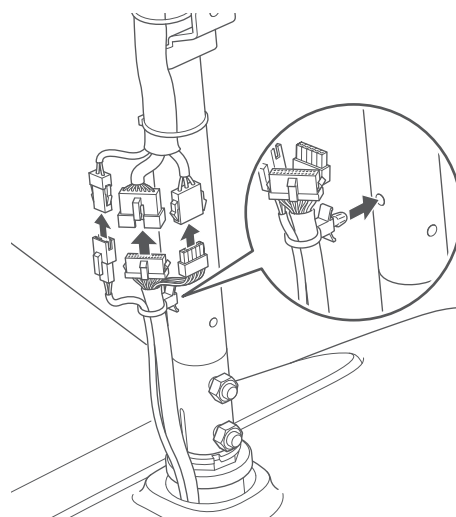
3

ステアリングユニット
固定ボルト（M8 40mm）



3. フロントカバーから立ち上がるケーブルをまとめている結束バンドの先端の矢印形状のクリップ部分をステアリングユニット右側面の下方の穴に差し込みます。

このケーブル先端にあるコネクタ 3 個と、上部から下に向かうケーブル 3 本の先端のコネクタ 3 個を、ピン数の合致するもの同士、ツメの部分を合わせて繋げます。

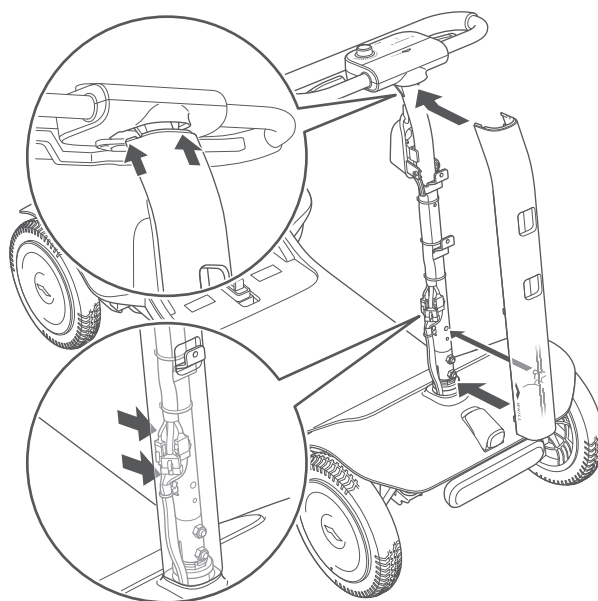


3.3.2. シャフトカバーの取り付け

組み立ておよび調整時の固定ボルトやネジの締め忘れや締めすぎに気を付けてください。

1. シャフトフロントカバーをステアリングユニットに取り付けます。

シャフトフロントカバーの上部をコントローラーユニットの下部に差し込み、シャフトフロントカバーが落ちないように押さえながら、カバー全体をステアリングユニット前面にはめこんでください。その際、シャフトフロントカバーの裏側下方にある突起を、ステアリングユニット正面の下から2つ目の穴にはめ込んでください。はみでたケーブルやコネクタはシャフトフロントカバーの内側に押し込んでください。



2. シャフトリアカバーの上部をコントローラーユニット下部に差し込みます。

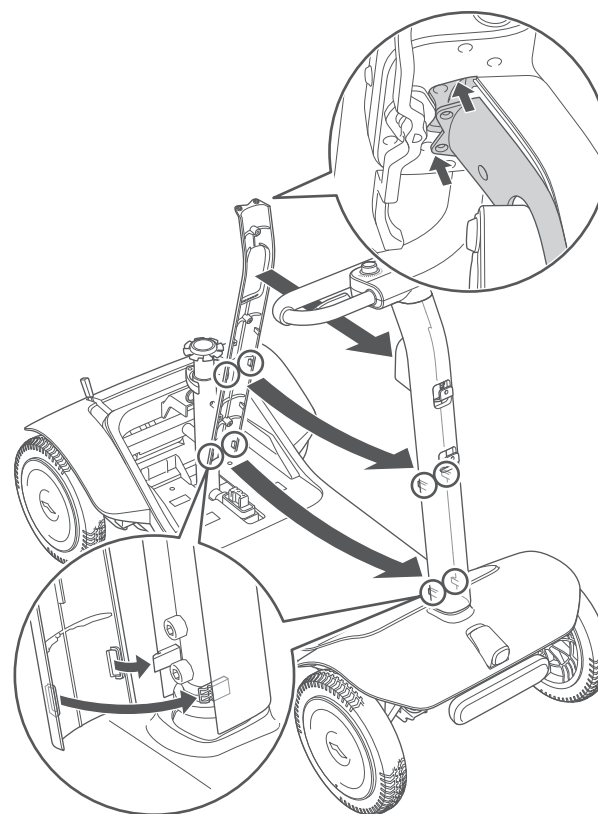
シャフトリアカバーとシャフトフロントカバーのツメ 4 カ所を合わせます。ケーブルを挟まないように注意して組み立ててください。



警告

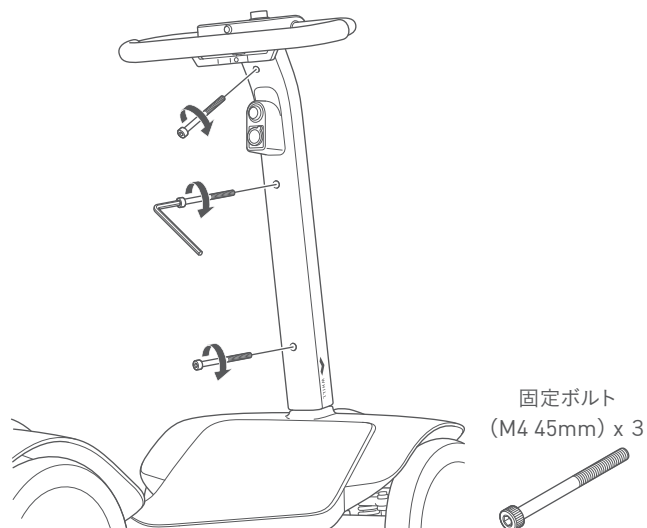
本体の接続部や可動部に指などを挟むと、怪我をするおそれがあります。

本体の組立・調整・運搬の際は、本書で説明している部分以外は触れないでください。



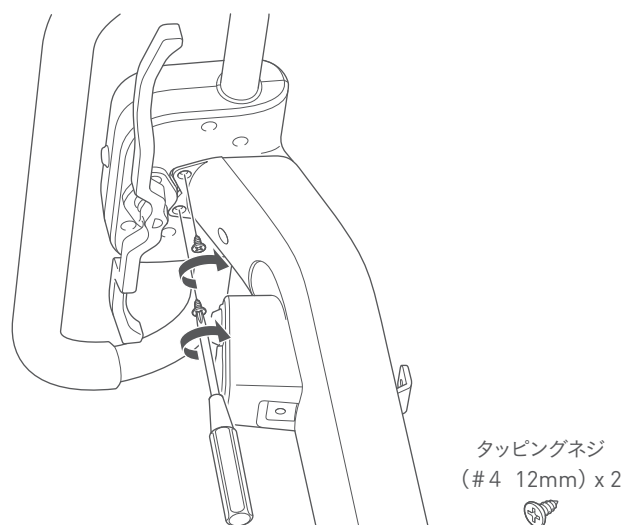
3. シャフトリアカバーの背面 3 カ所を固定ボルト（M4 45mm）で仮締めします。

工具：六角レンチ（3mm）



4. シャフトリアカバーの上端 2 ヶ所をタッピングネジ（#4 12mm）2 本で仮締めして固定します。

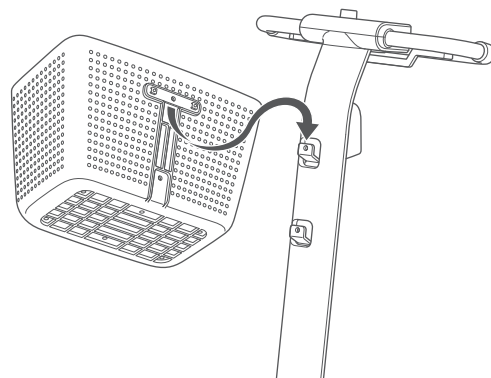
工具：プラスドライバー



5. シャフトリアカバーに仮締めした固定ボルト（3 カ所）とタッピングネジ（2 カ所）をしっかりと締めて、それぞれのシャフトカバーとステアリングユニットを固定します。

3.3.3. バスケットの取り付け

1. バスケットをステアリングユニット前面にあるバスケット固定金具（2カ所）に差し込みます。



2. バスケットの内側 2カ所をバスケット固定ボルトで固定します。下側のみワッシャーを入れます。固定ボルトを締める際に、強く締めすぎないように注意して下さい。

工具：六角レンチ（4mm）

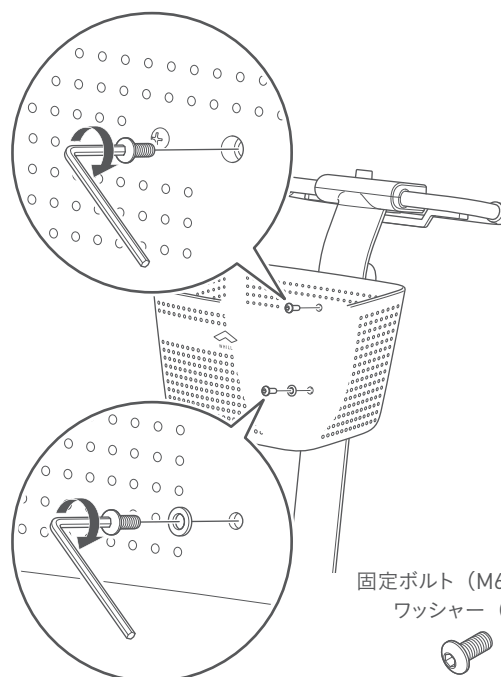
締付トルク：5Nm



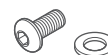
警告

本体の接続部や可動部に指などを挟むと、怪我をするおそれがあります。

本体の組立・調整・運搬の際は、本書で説明している部分以外は触れないでください。

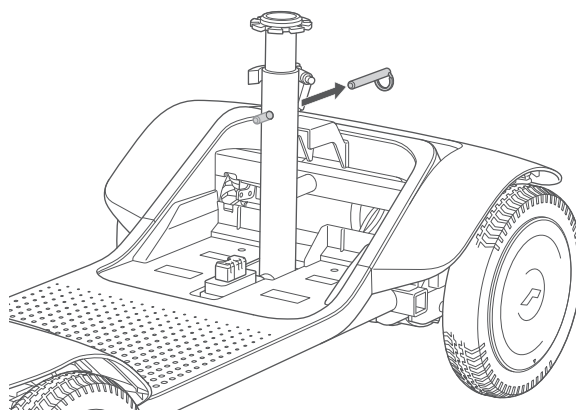


固定ボルト（M6 15mm）x 2
ワッシャー（M6）x 1



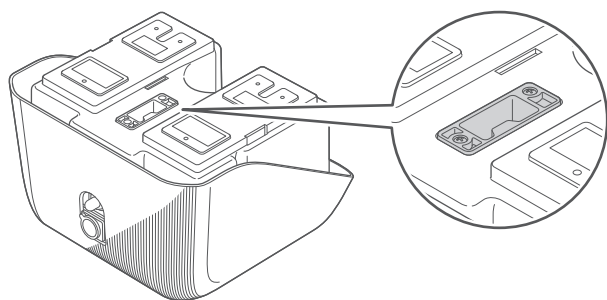
3.3.4. バッテリーの取り付け

1. キーが挿さっていないことを確認します。
2. シートポスト固定ピンを引き抜きます。

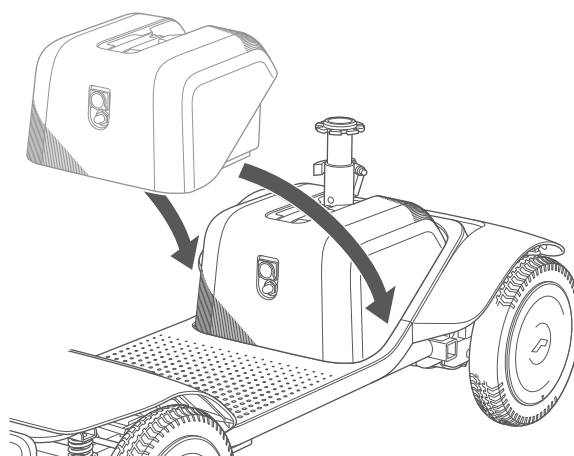
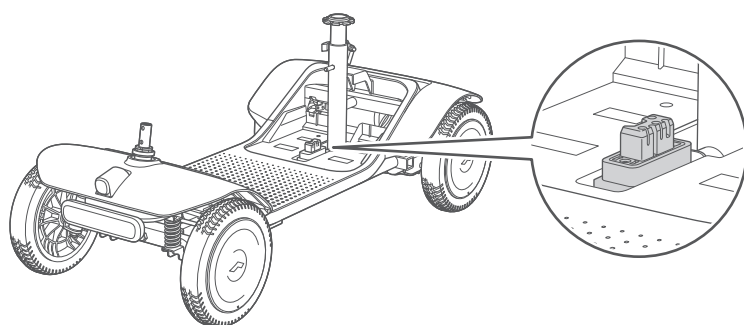


3. メインボディのバッテリーコネクタソケットと、バッテリーの底側のバッテリーコネクタポートが噛み合うように、バッテリーを取り付けます。

バッテリーコネクタポート



バッテリーコネクタソケット



バッテリーの重量は 15kg です。落とさないように注意して取り扱ってください。怪我をしたり、バッテリーが損傷するおそれがあります。

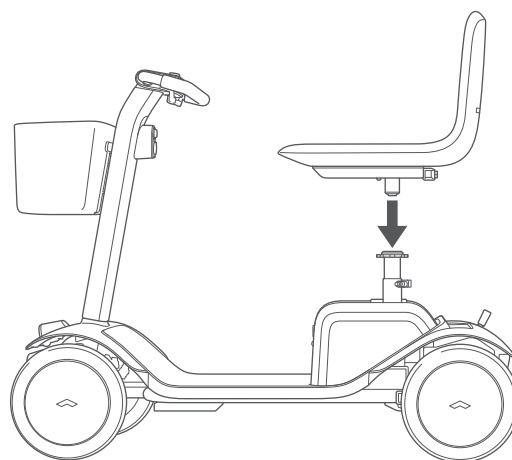
3.3.5. シートの取り付け

1. 正しい姿勢で乗車・運転できるように、シートポストを適正な高さに設定します。
2. シートポスト固定ピンを奥まで差し込みます。固定ピンが正しく奥まで差し込まれていると、ピン先の円筒部分に丸い突起が2つ見えます。突起が確認できたら、シートポスト固定レバーを締めて固定してください。（詳しくは 3.4.1. 参照）



警告

シートポスト固定ピンが奥まで差し込まれていないと、走行中の振動でバッテリーの接触が不安定になり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。



3

3. シートフレームをシートポストの上に取り付けます。



警告

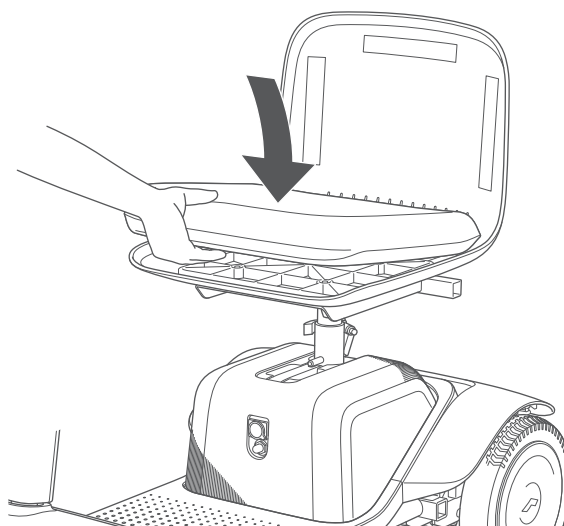
本体の接続部や可動部に指などを挟むと、怪我をするおそれがあります。

本体の組立・調整・運搬の際は、本書で説明している部分以外は触れないでください。

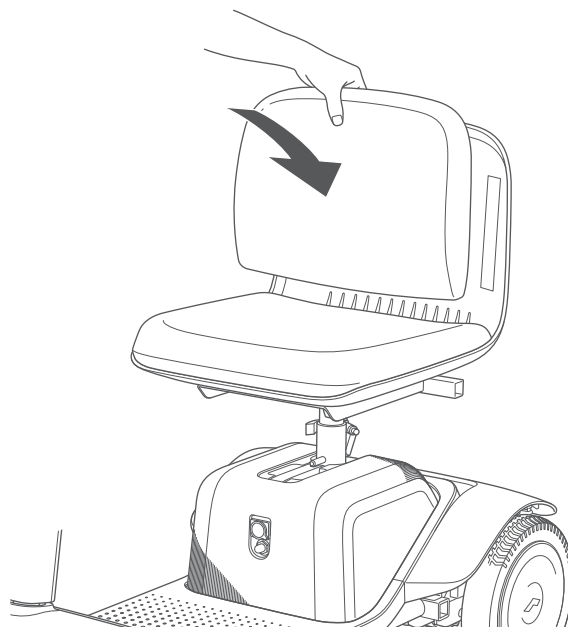


3.3.6. クッションの取り付け

1. シートクッションを取り付けます。シートクッションとシートフレームのそれぞれの面ファスナーを合わせて固定します。



2. バックサポートクッションを取り付けます。バックサポートクッションとシートフレームのそれぞれの面ファスナーを合わせて固定します。



3.4. 調整方法

本製品は、使用者の体に合わせて、以下の調整を行うことができます。

- シートの高さ：「3.4.1. シートの高さ調整」（29 ページ）
- シートの前後位置：「3.4.2. シートの前後位置の調整」（31 ページ）

⚠ 警告



- 組み立てや調整は、電源を切り、ブレーキをかけた状態で、平坦な場所で行ってください。思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- バッテリーコネクタソケットや、バッテリーコネクタポートに直接触れたり、濡らしたり、金属などの異物を近づけたりしないでください。また、組み立て時には異物が付着していないかを確認してください。怪我または感電をしたり、本体や部品が損傷するおそれがあります。

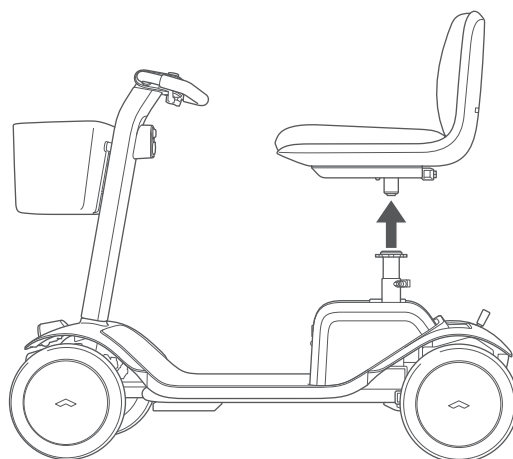
⚠ 注意



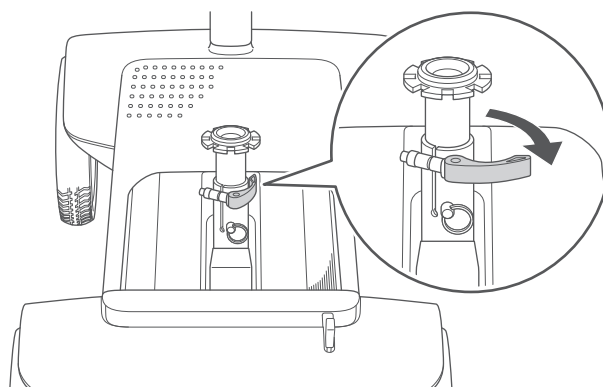
- 安全に使用するために、以下に注意して調整してください。思わぬ事故が発生するおそれがあります。
 - 必ず体に合うように調整してからご使用ください。
 - 組み立ておよび調整時のネジの締め忘れや締めすぎに気をつけてください。
 - 組み立てや調整を行う際は必ず本体から降りてください。
- シートの高さや前後位置の調整の際は、指を挟まないように注意してください。また、調整時に無理に力を加えないように気をつけてください。怪我をしたり、部品が破損するおそれがあります。

3.4.1. シートの高さ調整

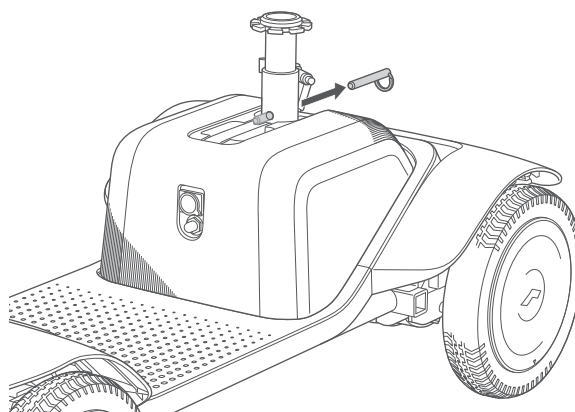
1. シートを取り外します。



2. シートポスト固定レバーを緩めます。

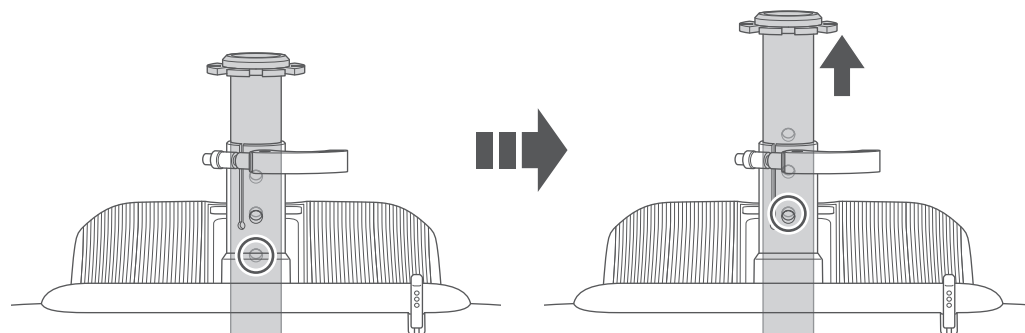


3. シートポストを支えながら、シートポスト固定ピンを引き抜きます。



4. シートポストの穴と、シートポスト固定パイプの高さ調整穴を好みの高さに合わせます。

シートの地面（床面）からの高さは3段階（48.5cm / 51.5cm / 54.5cm）に調整できます。

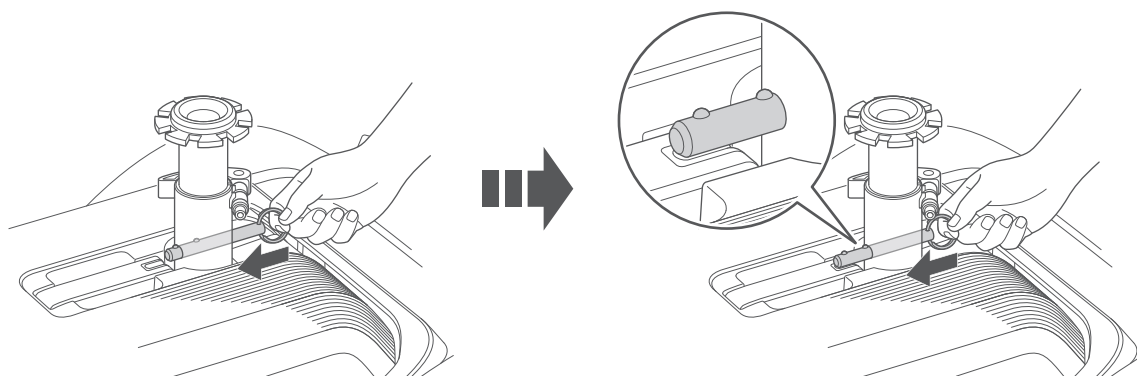
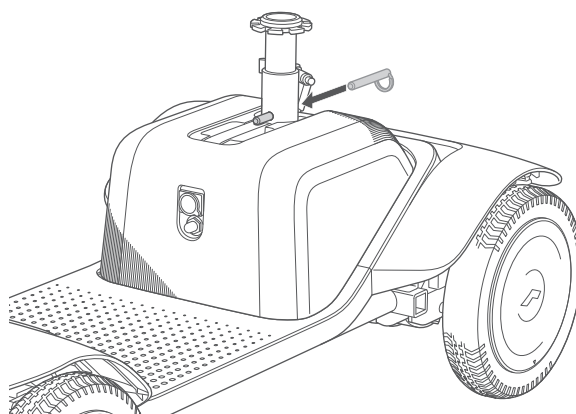


5. シートポスト固定ピンを奥までしっかりと差し込み、シートポストの高さを固定します。固定ピンが正しく奥まで差し込まれていると、ピン先の円筒部分に丸い突起が2つ見えます。



警告

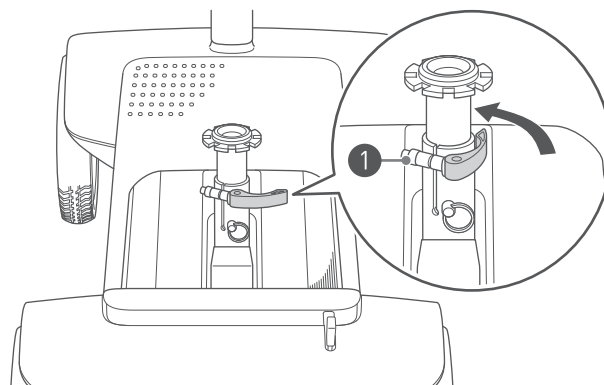
シートポスト固定ピンが奥まで差し込まれていないと、走行中の振動でバッテリーの接触が不安定になり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。



6. シートポスト固定レバーを締めて固定します。

シートポストにガタつきが無いか確認して下さい。

ガタつきがある場合、もしくはシートポスト固定レバーが硬すぎて締められない場合は、レバーを緩めて、調節ナット（右図①）を締めたり緩めたりすることでレバーの固定力を調節できます。調整後あらためてシートポスト固定レバーを締めてください。



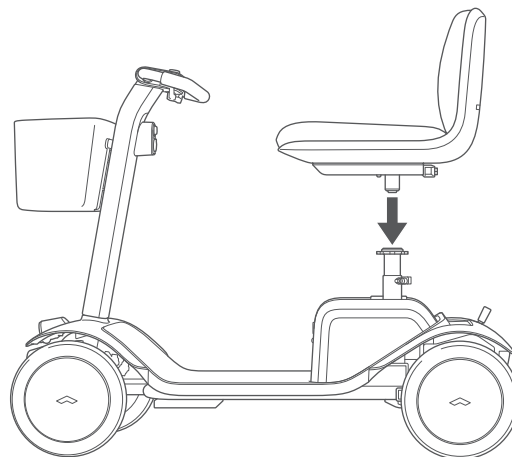
7. シートを取り付けます。



警告

本体の接続部や可動部に指などを挟むと、
怪我をするおそれがあります。

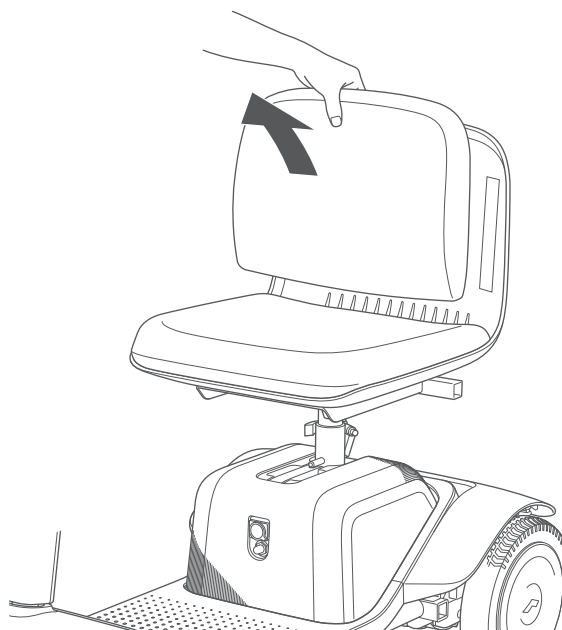
本体の組立・調整・運搬の際は、本書で説明している
部分以外は触れないでください。



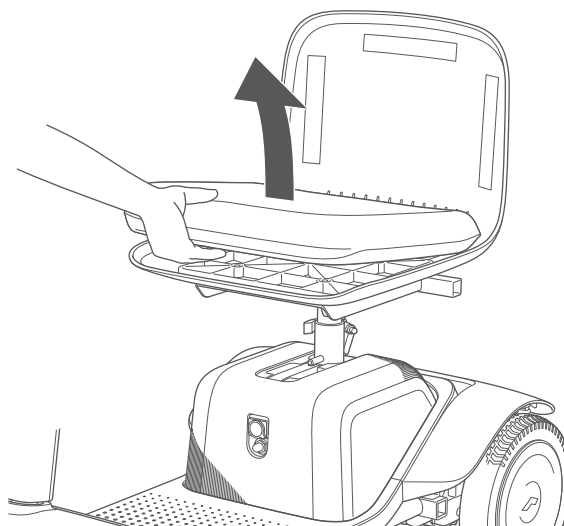
3

3.4.2. シートの前後位置の調整

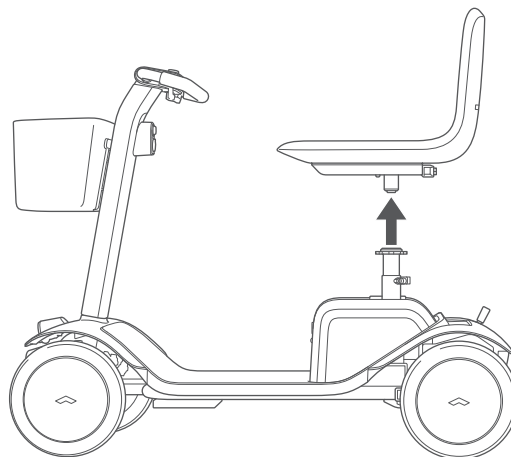
1. バックサポートクッションをシートベースから取り外します。



2. シートクッションをシートベースから取り外します。



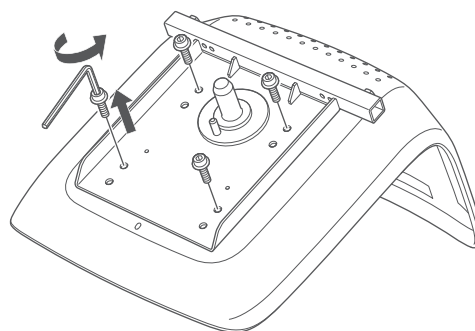
3. シートを取り外します。



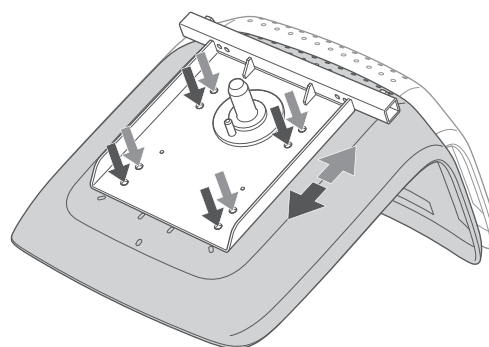
3

4. シートベース裏側にある4ヶ所の固定ボルト（M8 20mm）を外します。固定ボルトが外れる際にナットが床に落ちて紛失することを防ぐため、手を下に添えて固定ボルトを外すようにしてください。

工具：六角レンチ（6mm）



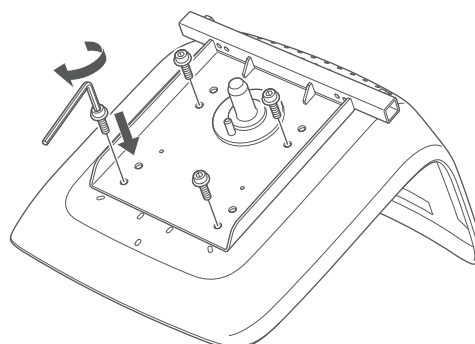
5. シートがより使いやすい位置になるように、シートフレームの位置調整穴とシートベースの位置調整穴を合わせます。位置は前後2段階に調整できます。シートの位置の設定は、シートフレームの座面側の数字で確認できます。1が前、2が後の位置になることを示しています。



6. 位置を決めたら、ナットを手で押さえながら固定ボルト（M8 20mm）4本で仮締めします。その後、しっかり締めて、シートフレームとシートベースを固定します。

工具：六角レンチ（6mm）

締めトルク：15Nm



7. シートを取り付けます。シートクッションとバックサポートクッションを、それぞれ、シートフレームの面ファスナーに合わせて固定します。

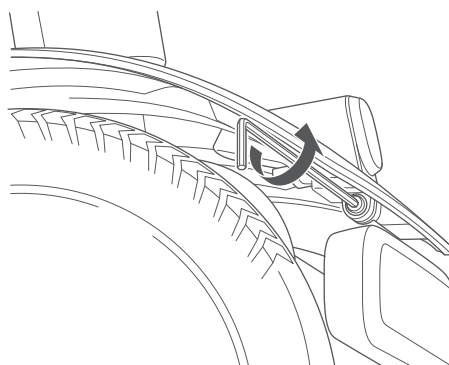
3.4.3. フロントライトの調整

1. フロントライトを点灯させて、照射位置を確認します。
2. 調整が必要な場合は、フロントカバーの下、右側から六角レンチを差し込んで反時計回りに緩めます。

工具：六角レンチ（3mm）

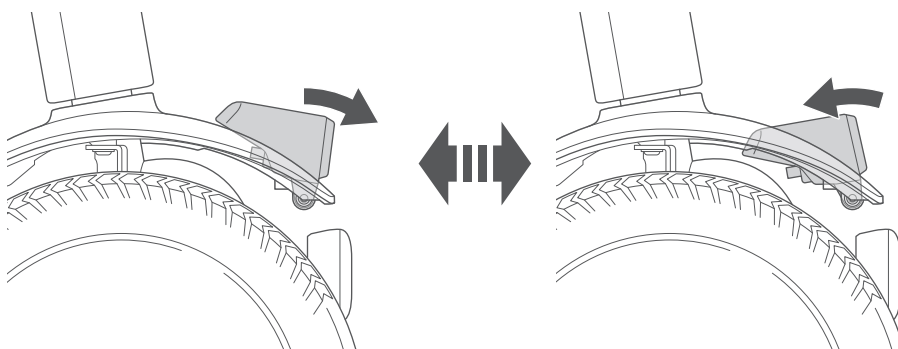


緩めすぎるとナットが落下するのでご注意ください。



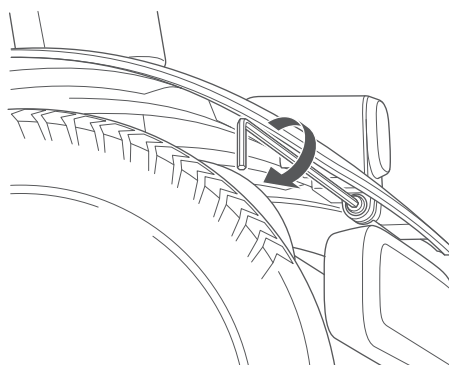
3

3. フロントライトをゆっくり可動する範囲で動かし、照射角度を調整します。



4. 位置を調整したら、六角レンチで時計回りに締め付け固定します。

工具：六角レンチ（3mm）



4. バッテリーの充電

WHILL Model S を初めてご使用になる前に、バッテリーを充電してください。また、外出の前や長期間使用しなかった場合も充電してからご使用ください。

本製品は、理想的な条件で最大 33km * 走行できるように設計されていますが、走行可能距離は、坂道、カーブ、段差、地形、運転習慣、荷重、温度などの走行条件により異なります。本製品を長時間使用するために、次の点に注意して使用することをお勧めします。

- 出掛ける前に必ず満充電にしておく。
- 荷物の重量をできる限り減らす。
- 坂や障害物のない経路を通るように計画する。
- 速度を一定に保ち、急停止や頻繁な停止を避ける。

* 走行可能距離は JIS T 9208:2016 で定められた条件で測定した値です。

警 告



- **バッテリーや充電器に関する本書の説明をよく読み、指示を守ってください。**
充電中、充電直後の充電器に触れると、やけどのおそれがあります。バッテリーや充電器を分解する、火気に近づける、濡らす、衝撃を与える（落とす、釘を刺す、踏む）などの行為は火災の原因となったり、バッテリーが爆発するおそれがあります。
- **バッテリーの充電は、可燃性ガスのないよく換気された環境で、本体の 2 倍以上のスペースを確保して行ってください。**
可燃性ガスで満たされていたり換気が不十分であったりした場合、爆発やその他の事故を引き起こすおそれがあります。
- **外形に損傷が見られたり、動作などに異常を感じたら速やかに使用・充電を中止し取扱店へお問い合わせください。**
感電、ショート、発火の恐れがあります。



- **バッテリーや充電器は、絶対に分解しないでください。**
爆発するおそれがあります。
- **本製品のバッテリーコネクタポートには絶対に触れないでください。**
重傷、感電を招くおそれがあります。また、本製品の保証が無効になります。

注 意



- **長期間使用しない場合は、バッテリーを必ず満充電にしてから保管してください。また、少なくとも 1 カ月に 1 回は必ず充電し、充電器が満充電表示となってからさらに 4-6 時間充電してください。**
バッテリーの劣化が蓄積され、使用できなくなる可能性があります。
- **充電ポートを使用しないときは、必ず充電ポートカバーを閉めてください。**
異物が侵入し、ショートする可能性があります



- **バッテリーと充電器は、いずれも Model S 専用です。指定していない充電器での充電や、指定していないバッテリーの充電はしないでください。**
故障や事故のおそれがあります。



- バッテリーの温度は気温や周囲環境と同じではありません。走行前にバッテリーを 0℃以下の環境に長時間放置しないようにしてください。
- バッテリーを長期間使用しない場合は、0 ～ 40℃の環境で保管してください。特に 20 ～ 30℃で保管いただくことで長持ちします。
- 充電器は屋内専用です。屋外でバッテリーを充電しないでください。
- 落雷時には充電しないでください。
- 使用後は、毎回充電するよう心がけてください。次回乗車時に満充電のバッテリーを使用することにより、バッテリー残量不足になることを防止できます。緊急の場合、満充電でなくても使用いただけますが、バッテリーの残量が不足すると、走行中に立往生するおそれがあります。
- こまめな充電と、かつ充電器が満充電表示となってからさらに 4-6 時間充電することでバッテリーが長持ちします。
- 充電器が満充電表示となってからさらに 4-6 時間充電した後に、充電コネクタをバッテリーから外してください。
- バッテリーに関するお問い合わせは、取扱店または WHILL コンタクトデスクまでご連絡ください。

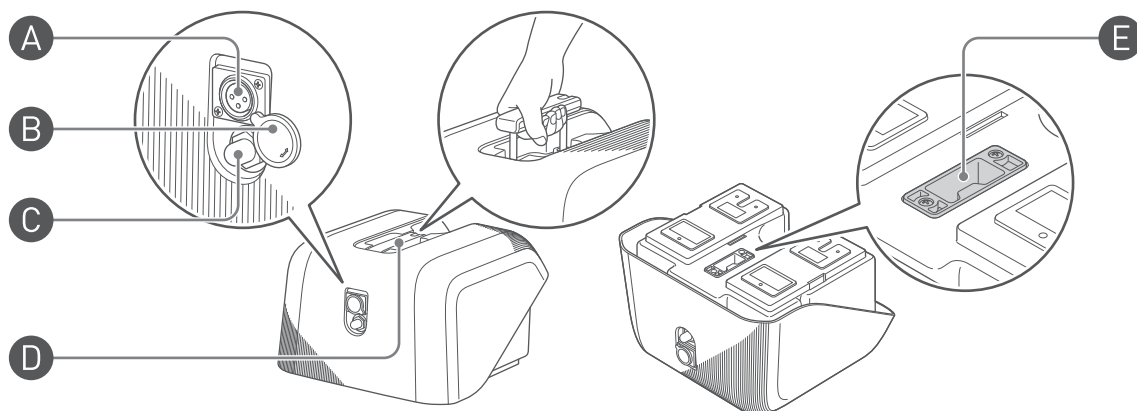
4.1. バッテリー、充電器について

■ バッテリー

本製品は、電圧 24V の鉛蓄バッテリーを使用しています。



バッテリーを廃棄する際は、取扱店や WHILL コンタクトデスクにご連絡ください。



A 充電ポート

B 充電ポートカバー

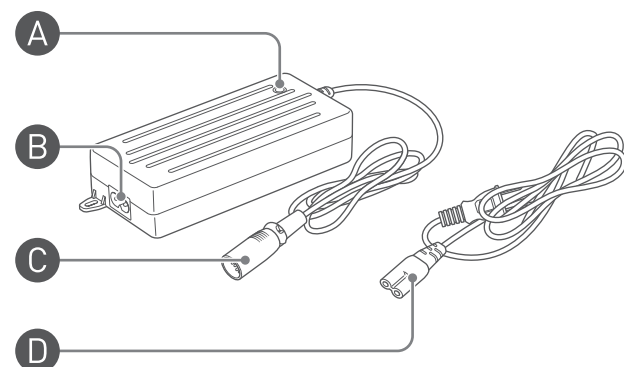
C ブレーカー

D バッテリーハンドル

E バッテリーコネクタポート

■ 充電器

標準充電器 (3A)



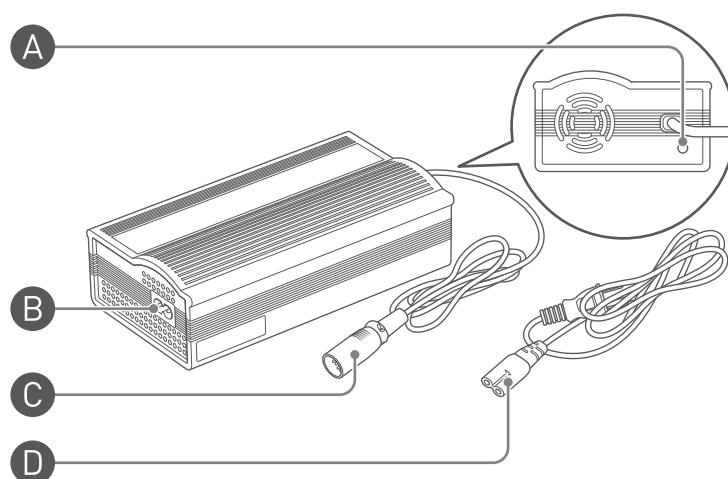
A 充電ランプ

B 電源コード差し込み口

C 充電コネクタ

D 電源コード

急速充電器 (5A)



A 充電ランプ

B 電源コード差し込み口

C 充電コネクタ

D 電源コード

4.2. 充電方法

初めてご使用になるときや、外出の前、長期間使用しなかった場合は、必ずバッテリーを充電してからご使用ください。バッテリーを充電するには、原則として本体にバッテリーを取り付けたまま行ってください。どうしても必要な場合には、バッテリーを本体から取り外して充電することも可能です。

本製品はバッテリーを充電しながら使用することはできません。充電を始めてから完了するまでに要する時間の目安は、標準充電器（3A）で9時間40分、急速充電器（5A）で6時間40分です。充電が完了してからさらに4-6時間充電することでバッテリーが長持ちします。

警告



● 家庭用電源で充電してください。

感電や、ショート、発火の原因となります。100-240V、50-60Hzの壁面コンセントを使用して充電してください。延長ケーブルの使用の際は、規格にあったものをご使用ください。



● 充電中、充電直後の充電器に触れないようにしてください。

やけどのおそれがあります。

● バッテリーコネクタソケットや、バッテリーコネクタポートに直接触れたり、濡らしたり、金属などの異物を近づけたりしないでください。

怪我または感電をしたり、本体や部品が損傷するおそれがあります。

● 損傷・変形のある充電コードやプラグを使用しないでください。

感電・ショート・発火の原因になります。

● 電源コードは、無理な力で引っ張らないでください。

感電や、ショート、発火の原因となります。

● 濡れた手で充電しないでください。

感電するおそれがあります。

注意



● 温度 0 ～ 40℃の環境で充電してください。また、直射日光や雨・露の影響を受けない、風通しの良い、湿気の少ない屋内で充電してください。直射日光に晒されるなどによりバッテリーがあたたまっている場合は、充電前に風通しの良い日陰や室内で温度を下げてから充電してください。

指定以外の温度環境では充電ができない場合があります。また、バッテリーの劣化や損傷につながるおそれがあります。

● 長期間使用しない場合は、バッテリーを必ず満充電にしてから保管してください。また、少なくとも1カ月に1回は必ず充電し、充電器が満充電表示となってからさらに4-6時間充電してください。

バッテリーの劣化が蓄積され、使用できなくなる可能性があります。



● ブレーキが解除された状態でバッテリーを充電しないでください。

本体が動き、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

● 本製品に同梱されている充電器と電源コード以外は使用しないでください。

指定以外の充電器と電源コードを使用すると、感電したり、充電器が発熱してやけどをするおそれがあります。また、本製品に同梱されている充電器と電源コードを本製品以外で使用することはできません。



- 充電器が満充電表示となってからさらに 4-6 時間充電してください。充電完了後は、壁面コンセントから充電器のプラグを外してください。
- バッテリーの温度は気温や周囲環境と同じではありませんが、走行前にバッテリーを 0°C 以下の環境に長時間放置しないようにしてください。
- 落雷時には充電を行わないでください。
- 充電後の使用可能時間が異常に短くなるなど、寿命が近づいてバッテリーの交換が必要であると思われる場合は、取扱店または WHILL コンタクトデスクにご連絡ください。

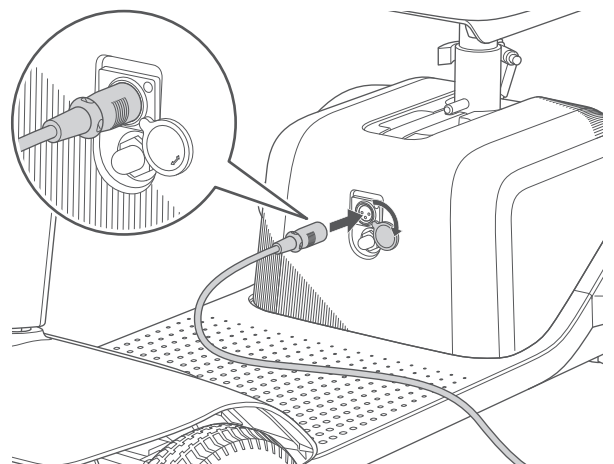
4.2.1. バッテリーを本体に取り付けたまま充電する場合

4

安全のため、充電中に本体を操作することはできません。

下記の順序で充電してください。

1. 本体をコンセントの近くに移動させます。
2. 本体の電源がついている場合は切ります。また、ブレーキが解除されている場合はロックします。
3. 充電器と電源コードを接続します。
4. バッテリー前面（図参照）、またはステアリングユニットのキーシリンダーの下にある充電ポートカバーをずらし、充電コネクタを充電ポートに接続します。充電コネクタの内側にある端子と充電ポートの穴の位置が合うように接続してください。
5. 壁面コンセントに充電器のプラグを差し込みます。
6. 充電ランプがオレンジ（5A 急速充電器）または黄色（3A 標準充電器）に点灯し、充電が開始されます。
7. 充電ランプが緑点灯したら、充電完了です。充電が完了してからさらに 4-6 時間充電することでバッテリーが長持ちします。
8. 壁面コンセントからプラグを外します。
9. バッテリーから充電コネクタを抜き、充電ポートカバーを閉じます。

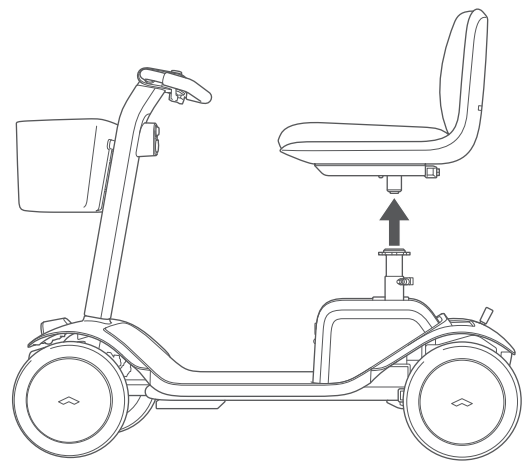




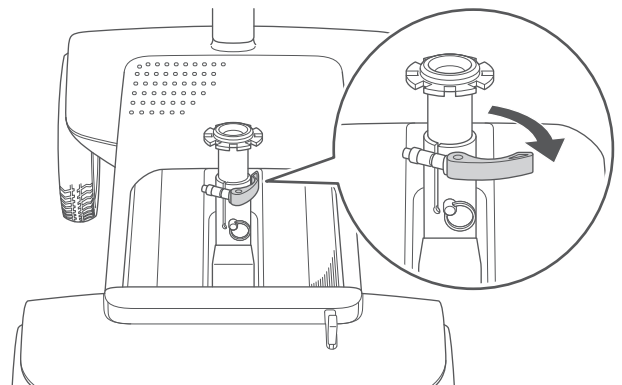
- 家庭用電源、100-240V、50-60Hz の壁面コンセントを使用して充電してください。延長ケーブルを使用する際は、規格にあったものをご使用ください。
- バッテリーが満充電ではない状態で、充電ランプがすぐに緑点灯する場合、WHILL Model S 専用でない充電器を使用している可能性があります。ラベルをご確認ください。
- 充電ランプがオレンジ（5A 急速充電器）または黄色（3A 標準充電器）に変わらない場合は、きちんと接続されていない可能性があります。再度、次の方法で接続し直してください。充電コネクタを抜いた状態で、充電器のプラグを壁面コンセントから抜き、充電ランプが消えた事を確認した後、充電器のプラグを再度壁面コンセントに差し込み直して、充電コネクタを充電ポートに差し込んで下さい。それでもオレンジまたは黄色に変わらない場合は、バッテリーまたは充電器の故障が考えられます。
- 充電器を接続中に電源を入れると、警報が鳴りランプが点滅します。電源を OFF にしてください。

4.2.2. バッテリーを外して充電する場合

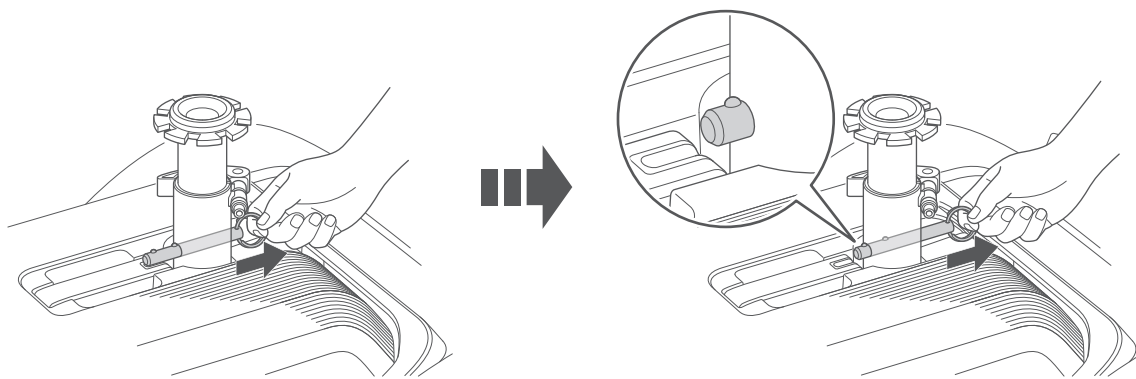
1. 本体の電源が切れていることを確認します。
2. 充電器の充電コネクタがバッテリーやステアリングユニットの充電ポートに接続されていないことを確認します。
3. シートを取り外します。



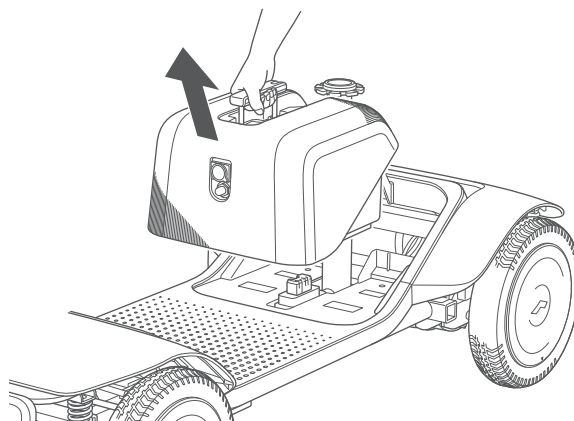
4. シートポスト固定レバーを外します。



5. シートポスト固定ピンを一段階だけ引き抜きます。

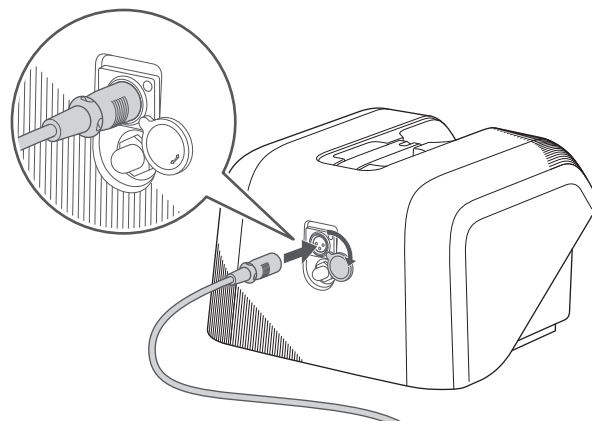


6. バッテリーハンドルを持って、メインボディから取り外します。



7. 充電器をバッテリーに接続します。

充電ポートカバーをずらし、充電コネクタをバッテリーの充電ポートに接続します。充電コネクタの内側にある端子と充電ポートの穴の位置が合うように接続してください。



8. 壁面コンセントに電源コードのプラグを差し込みます。

9. 充電器と電源コードを接続します。充電ランプがオレンジ点灯（5A 急速充電器）または黄色点灯（3A 標準充電器）し、充電が開始されます。バッテリー充電の状態は充電器の LED で確認できます。

10. 充電ランプが緑点灯したら、充電完了です。充電が完了してからさらに 4-6 時間充電することでバッテリーが長持ちします。

11. 壁面コンセントからプラグを外します。

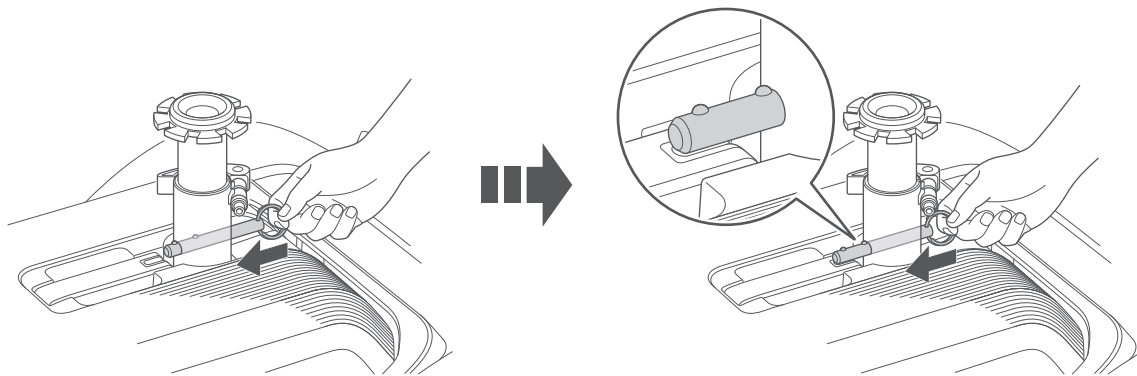
12. バッテリーから充電コネクタを抜き、充電ポートカバーを閉じます。
13. バッテリーを本体に取り付けます。
14. シートポスト固定ピンを奥までしっかり差し込んだ後、シートポスト固定レバーを締めて固定し、シートを取り付けます。固定ピンが正しく奥まで差し込まれていると、ピン先の円筒部分に丸い突起が 2 つ見えます。

取り付け方法の詳細は、「3.3.5. シートの取り付け」(27 ページ)、「3.4.1. シートの高さ調整」(29 ページ) を参照してください。



警告

シートポスト固定ピンが奥まで差し込まれていないと、走行中の振動でバッテリーの接触が不安定になり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。



- 家庭用電源、100-240V、50-60Hz の壁面コンセントを使用して充電してください。延長ケーブルを使用する際は、規格にあったものをご使用ください。
- バッテリーの重量は 15kg です。落とさないように注意してください。
- バッテリーが満充電ではない状態で、充電ランプがすぐに緑点灯する場合、WHILL Model S 専用でない充電器を使用している可能性があります。ラベルをご確認ください。
- 充電ランプがオレンジ (5A 急速充電器) または黄色 (3A 標準充電器) に変わらない場合は、きちんと接続されていない可能性があります。再度、次の方法で接続し直してください。充電コネクタを抜いた状態で、充電器のプラグを壁面コンセントから抜き、充電ランプが消えた事を確認した後、充電器のプラグを再度壁面コンセントに差し込み直して、充電コネクタを充電ポートに差し込んで下さい。それでもオレンジまたは黄色に変わらない場合は、バッテリーまたは充電器の故障が考えられます。
- 充電器を接続中に電源を入ると、警報が鳴りランプが点滅します。電源を OFF にしてください。

4.2.3. 充電ランプの表示

充電器の充電ランプは、状況に応じて以下のように点灯します。なお、バッテリー充電中のランプ点灯色は、急速充電器（5A）と標準充電器（3A）で異なります。

充電ランプの色	充電状況
赤	充電器の電源ケーブルがコンセントに接続され、電気が通じる。
オレンジ（5A） 黄色（3A）	バッテリーの充電中
緑	バッテリーの充電完了

充電ランプがオレンジまたは黄色に点灯しない場合は、壁面コンセントからプラグを抜いて、充電ランプが消灯してから再度プラグを接続してください。それでも解決しない場合は、バッテリーまたは充電器、または充電コネクタの故障が考えられます。取扱店または WHILL コンタクトデスクにお問い合わせください。なお、バッテリーが満充電になっているかどうかは、バッテリー残量表示で確認ができます。



- バッテリーが満充電ではない状態で、充電ランプがすぐに緑点灯する場合、Model S 専用でない充電器を使用している可能性があります。ラベルをご確認ください。
- 充電ランプが赤点滅する場合は、壁面コンセントからプラグを抜き、10 秒たってからプラグを挿し直してください。

5. 操作方法

ここでは、本体の乗車や操作方法、運転方法などについて説明します。

警 告



- ハンドルやバスケット、コントローラーユニットにもたれる、座るなどして過度な負荷をかけないでください。また、アクセルレバーや速度調整ダイヤルを強い力で操作したり、鋭利なもので操作しないでください。

部品が破損して、操作ができなくなる可能性があります。

注 意



- 長期間使用しない場合は、バッテリーを必ず満充電にしてから保管してください。また、少なくとも 1 カ月に 1 回は必ず充電し、充電器が満充電表示となってからさらに 4-6 時間充電してください。

バッテリーの劣化が蓄積され、使用できなくなる可能性があります。



- 本製品は電気製品です。防水性能は「生活防水（IPX 4）」となりますので、故障を防ぐため、できる限り雨天時のご利用は避けてください。
- 初めて WHILL Model S を使用するときは、どなたかがそばにいる環境で使用されることを推奨します。

5.1. 乗車前点検



警告



● **乗車前に、毎回以下の点検を行ってください。**

問題があるまま乗車すると、怪我をしたり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。部品の交換や修理が必要な場合は、使用を中止し、取扱店または WHILL コンタクトデスクにご連絡ください。

■ 点検内容

1. 電源が切れた状態での点検

組立

- すべての部位がきちんと組み立てられていて、なくなっていたり、壊れていたり、損傷したり緩んでいる部位がないか。

機能

- ブレーキを解除して手動で押すことができるか、またブレーキをかけたときに、本体を押しても動かないか。

車輪

- 前後輪の表面が摩耗して、溝の深さが 0.5mm 以下になっていないか。異物が挟まっていないか。
- 前輪または後輪に亀裂が入ったり、変形したりしていないか。
- 手動または電動で動かしたときに、前後輪がぐらついていないか。

2. 電源を入れた状態での点検

- 電源を入れたときに、コントローラーの電源表示やバッテリー残量表示が正しく表示されるか。

本体後方のリアライトが点灯するか。

- バッテリー残量が十分か。

バッテリー残量表示の左の E (Empty) は残量無しで、右の F (Full) は満充電を示す。

- フロントライトスイッチで、フロントライトが点灯できるか。
- ハンドルが機能しているか。
- アクセルレバーにがたつきがないか。
- サウンドボタンを押したときに音が聞こえるか。
- アクセルレバーの D (前進) や R (後進) が機能するか。
- タイヤ回転時に異常な音がしないか。



- バッテリー残量表示で左側の赤いランプ 2 本しか点灯しない場合は、走行中に残量が足りなくなり立往生する可能性があります。必ず充電してから運転してください。
- 充電直後は、2-3 分走行してからバッテリー残量を確認してください。
- 上記の点検で、ご自身で解決できない異常がみられた場合は、取扱店または WHILL コンタクトデスクにご連絡ください。

5.2. 乗車する

使用前に必ず本書をお読みください。内容を正しく理解してから、ご使用ください。

最初に公道に出る前に、必ず運転の練習をしてください。運転の練習をする場合は、見通しの良い広い場所で行ってください。

乗車の際は、以下に注意してください。

警 告



- 本体への乗り降りは、平坦で水平な場所で行ってください。
思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 本体へ乗り降りする際は、本体の電源を切ってください。
コントローラーに誤って触れたときに、本体の誤動作を引き起こす可能性があります。
- 使用前に必ずブレーキがロックされていることを確認してください。また、ブレーキを解除した状態で本製品を放置しないでください。
ブレーキが解除されていると、本体が動き出す可能性があります。
- 本製品の耐荷重は乗員と荷物を合わせて 100 kg です。本体は耐荷量を守って使用してください。
製品が破損するおそれがあります。



- ハンドルやバスケット、コントローラーユニットにもたれる、座るなどして過度な負荷をかけないでください。また、アクセルレバーや速度調整ダイヤルを強い力で操作したり、鋭利なもので操作しないでください。
部品が破損して、操作ができなくなる可能性があります。
- ハンドルやアクセルレバーにステッキや傘、袋やカバンなどをひっかけないでください。
部品が破損したり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 本体に飛び乗ったり、フロントカバーやリアカバーに足を乗せたりしないでください。
破損するおそれがあります。
- 走行中に衣類やマフラーなどが車輪に触れないようにしてください。
衣類やマフラーなどが車輪に触れて巻き込まれると、怪我をしたり、動作が停止するなど本体の制御ができなくなることで思わぬ事故が発生するおそれがあります。

注 意



- スピード調整は速度調整ダイヤルで行います。最高速度は6km/h です。安全な場所で速度を確認してから走行してください。
製品が想定外の動きをするおそれがあります。

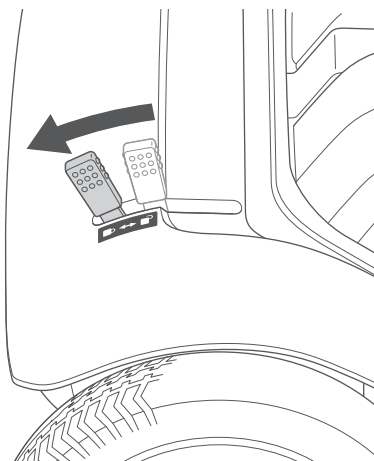


本製品の走行可能距離や走行速度は、坂道、カーブ、段差、地形、荷重、温度などの走行条件で異なります。状況によって急停止する可能性もあります。使用中に発生するエラーについては、「8. トラブルシューティング」（66 ページ）をご確認ください。

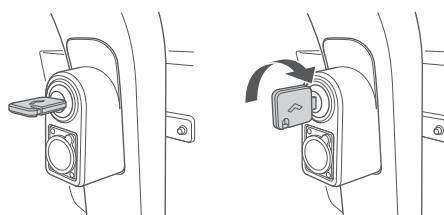
5.3. 電源を入れる

1. リアカバーの後方右側にあるブレーキ解除レバーを後方（施錠マーク位置）に動かしロックします。

施錠・開錠マークは、手動で本体を動かせるか否かを示します。ブレーキがロックされた状態で、本体に電源を入れて走行します。



2. アクセルレバーに触れないように気を付けて、ステアリングユニットのキーシリンダーにキーを挿し込み、右側に回して電源を入れてください。電源が入ると、コントローラー画面の電源ランプやバッテリー残量表示、およびリアライトが点灯します。



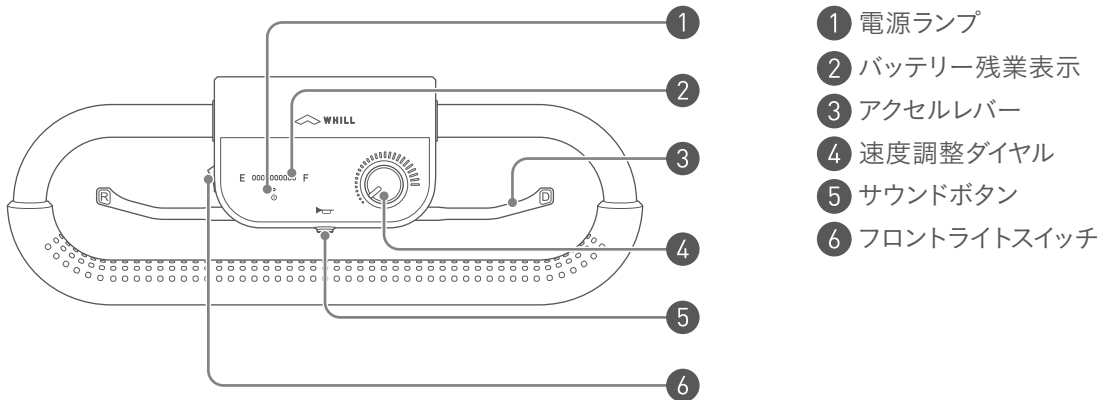
コントローラー画面の電源ランプが点滅するときは、一旦電源を切って、入れなおしてください。それでも電源が入らない時は、取扱店または WHILL コンタクトデスクにご連絡ください。



- アクセルレバーに触れた状態で電源を入れるとコントローラー画面の電源ランプが光り、警報音が鳴ります。
- ブレーキが解除された状態で電源を入れるとエラーとなり作動しません。キー位置を横になるよう戻して一旦電源を切った後、電源を入れなおしてください。

5.3.1. バッテリー残量を確認する

コントローラー画面の左側のバッテリー残量表示で確認します。E (Empty) から F (Full) まで 10 本の LED ライト (赤が 2 本、白が 8 本) 並んでいますが、左端から LED ライトが点灯する数が多いほどバッテリーの残量が多いことを示します。走行予定距離にもよりますが、原則として、半分以上点灯している状態で走行を始めることをおすすめします。赤色の LED ライトのみ点灯の場合は、必ず充電してから乗車してください。



5

■ 走行距離について

- フロントライト点灯時は、走行できる距離が短くなります。
- 冬期はバッテリーの特性上、夏期に比べて走行出来る距離が短くなることがあります。
- 走行できる距離は、バッテリーの劣化に伴って短くなります。
- バッテリー残量が少なくなると警告音が鳴り続けます。異常ではありませんが、速やかにバッテリーを充電してください。

i

- 一日の走行が終わったら、充電するよう心がけましょう。バッテリーを使い切ってから充電する必要はありません。Model S は、途中の状態 (バッテリー残量を使い切る前) で充電しても、バッテリーの寿命に影響はありません。
- バッテリー残量表示の LED ライトは、満充電時はすぐに点灯反映されますが、満充電になる前に充電をやめた場合は、充電前表示から最大 3 分かけて徐々に点灯数を増加させ状態を示します。
- バッテリー残量が少なくなると Model S は走行を停止します。停止に至るプロセスは以下の通りです。
 1. バッテリー残量表示 LED が赤のみになる。
 2. さらに減ると減速する。
 3. さらに減ると警報音が鳴る。

5.3.2. 速度を調整する

コントローラー画面右側の速度調整ダイヤルで、最高速度の調整を行います。速度調整ダイヤルを時計回りの方向に回すことで最大 6km/h まで設定できます。設定最高速度は、右側のアクセルレバー（D）を手前に最大限引いた場合の速度になります。

注 意



- 速度調整ダイヤルは走行前に操作してください。やむをえず走行中に速度調整ダイヤルを動かす必要のあるときは、ふらつかないようにハンドルをしっかり握った状態で操作してください。走行中の調節は前方不注意の原因になり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

- 前進するときの走行速度は、1km/h から 6km/h までを無段階に設定することができます。
- 後進するときの走行速度は、1km/h から 2km/h までを無段階に設定することができます。後進時は速度調整ダイヤルを最大値まで動かしても最高速度は 2km/h に制限されます。

5.3.3. サウンドボタンを使用する

コントローラーの側面、トランペットのアイコンの手前側面にある黒いサウンドボタンを押して、きちんと鳴るかを確認してください。

5.4. 運転する

WHILL Model S は道路交通法上では歩行者として扱われ、運転免許は必要ありません。歩行者として交通ルールやマナーを守って運転してください。歩道や歩行者道路を走行し、横断歩道を渡ってください。歩道のない道路は、自動車や他の交通機関に十分注意して、右側通行してください。

警 告



- 運転する際は周囲や路面状況を十分に確認し、特に、人混みや壁際などの障害物が近くにある場所、狭い場所、また、平坦ではない道や斜面を走行する際には、低速でゆっくり走行してください。思わぬ事故が発生するおそれがあります。特に濡れた坂道では、本体の安定性を維持できない可能性がありますので、十分に注意してください。
- 縁石、段差、勾配、溝などには、90°の角度で進入し、低速でゆっくり走行してください。転倒したり、身動きがとれなくなったり、本体が変形する可能性があります。
- 使用者や周囲の人が、タイヤに触れることがないように走行してください。怪我をするおそれがあります。
- 下り坂では、速度調整ダイヤルをゆっくり走行する目盛りに設定し、約 1~2km の速度で前進し、慎重に走行してください。転倒したり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 下り坂で停止するときは、アクセルレバーから早めに手を離し、余裕を持って停止するように心がけてください。下り坂では、ブレーキの制動距離が長くなります。思った位置で停止できずに、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- ブレーキの解除は必ず平坦な場所で、電源を切ってから、必要な時のみ行ってください。手動での移動が完了したらすぐにブレーキ解除レバーを後方（施錠位置）に動かしブレーキをロックしてください。ブレーキを解除すると本体が自由に動くため、思わぬ事故が発生するおそれがあります。転倒するおそれがあります。



- 運転時にフロントカバーに足を乗せないでください。本体が破損したり、怪我をするおそれがあります。
- アクセルレバーにバッグや袋などをかけないでください。破損して操作できなくなる可能性があります。
- 速度調整ダイヤルやサウンドボタン、フロントライトスイッチを強い力で押したり、鋭利なもので操作しないでください。コントローラーやスイッチなどが破損して、本体の操作ができなくなる可能性があります。
- 乗車中に、かがんだり、身を乗り出したり、運動したりしないでください。重心に気をつけて動作するようにしてください。製品の安定性やバランスに影響を与える可能性があります。取りづらいものをとる場合は、周囲の人に介助を求めてください。
- 手に物を持ったり、膝の上に物を置いて運転しないでください。誤操作や転倒の可能性があります。

 警 告

- **以下の場所は走行しないでください。**
転倒したり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
 - エスカレーターや階段
 - 7.5cm より高い段差
 - 10° 以上の勾配
 - 砂地や沼地などの柔らかい路面
 - 雪道や凍結した路面
- **水たまりなどを走行しないでください。**
錆びたり、ショートする可能性があります。
- **手足や荷物を本体の外に出さないでください。**
走行時にぶついたりして怪我をするおそれがあります。
- **荷物をけん引しないでください。**
転倒するおそれがあります。
- **走行中に衣類やマフラーなどが車輪に触れないようにしてください。**
衣類やマフラーなどが車輪に触れて巻き込まれると、怪我をしたり、動作が停止するなど本体の制御ができなくなることで、思わぬ事故が発生するおそれがあります

5

 注 意

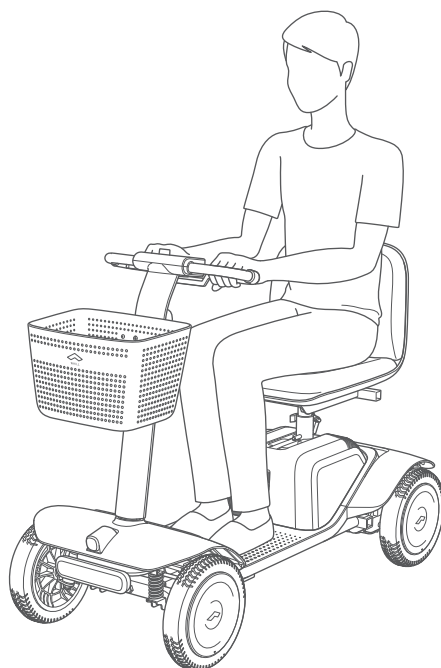
- **外出先でもバッテリー残量表示には注意してください。残量が少ない場合は速やかに充電してください。**
バッテリー残量が少なくなると、本体が減速し、最後には停止します。立往生する可能性があります。
- **道路は歩道を走行してください。**
本製品は、車道での使用を想定していません。車道を横断するときは、自動車のドライバーから見えているか確認し、十分注意して横断してください。



- **ブレーキ解除レバーを足で操作しないでください。**
ブレーキ解除レバーが、変形したり折れたりして使えなくなるおそれがあります。

■ 発進の順序

1. リアカバーのブレーキ解除レバーが後方（施錠マーク位置）にあり、本体がロックされていることを確認します。
2. 座席に正しく座り、前後左右の安全を確認します。
3. ステアリングユニットのキーシリンダーにキーを挿し込み、右側に回して電源を入れます。
4. コントローラー画面右側の速度調整ダイヤルで最高速度を設定します。
5. 両手でしっかりとハンドルを握ります。
6. 右側のアクセルレバーをゆっくり手前に引いて発進します。レバーの引き加減で、停止状態に設定した最高速度までの範囲の速度で走行できます。レバーから手を離すと自動的にブレーキがかかり、Model S は停止します。

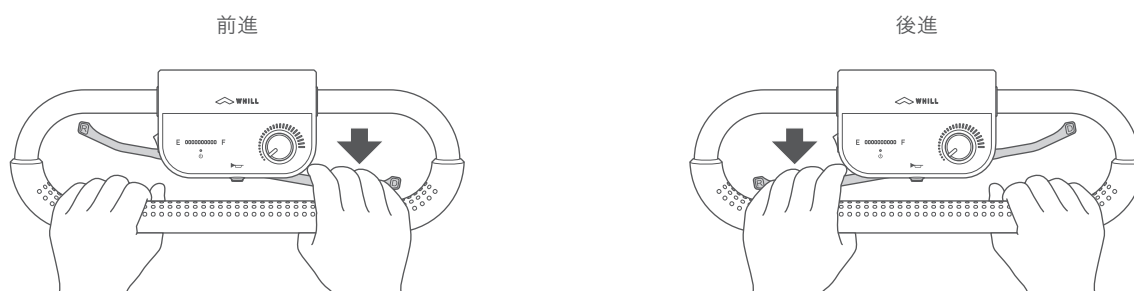


i

- 初めて公道に出る前に必ず練習してください。運転の練習をする場合は、見通しの良い広い場所で行ってください。
- 坂道で減速することがあります。
- 室内で使用する場合、床材が傷んだり、汚れたりすることがありますのでご注意ください。

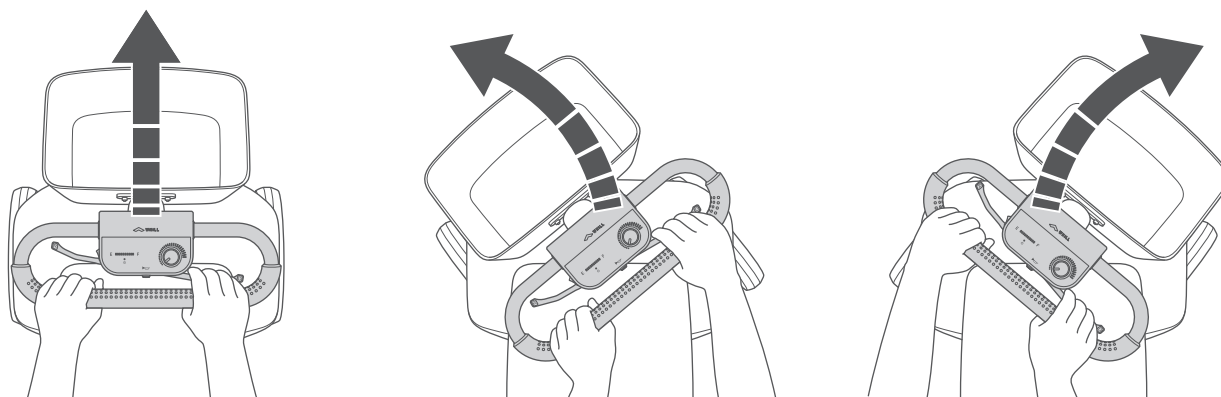
5.4.1. 前後へ進む

ハンドルを持ちながら、右側のアクセルレバーを手前に引くことで前進し、左側のアクセルレバーを手前に引くと後進します。深く引くほど、設定した速度を最大値として走行速度が速くなります。前進時の最高速度は 6km/h、後進時の最高速度は 2km/h になります。



5.4.2. 曲がる

ハンドルを左に向けると左方向の進み、右に向けると右方向に進みます。ハンドル操作は両手で行ってください。方向転換する時は内輪差に注意してください。



5.4.3. 止まる

アクセルレバーを元の位置に戻すと止まります。電源を切るときは、キーを左に回して横に戻します。Model S から離れるときは、他の人が運転できないように、必ず、キーを抜いて保管してください。



右アクセルレバーを離してすぐに左アクセルレバーを操作すると、急減速（急ブレーキ）をかけることができます。

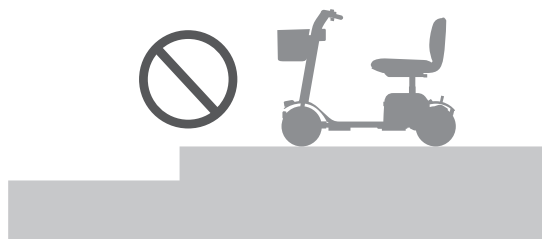
5.4.4. 速度を調整する

速度調整ダイヤルで最高速度を設定します。時計回りで速度目盛りが大きくなるほど、最高速度が速くなります。走行中は、アクセルレバーの引き具合で、最高速度内で速度を調整できます。走行中に最高速度を変更する場合は、片手は必ずハンドルを握ったまま変更してください。事故を防ぐため、周囲に注意して速度設定の変更をしてください。

5.4.5. 路面状況ごとの運転

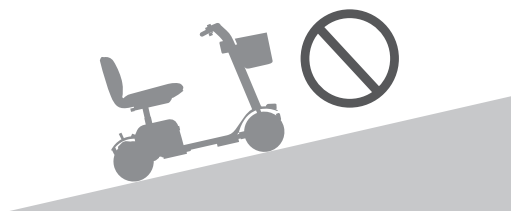
本製品は多くの路面条件で安定した走行ができます。ただし、以下の路面状況では、走行できません。

- 7.5 cm より高い段差



5

- 10° 以上の勾配



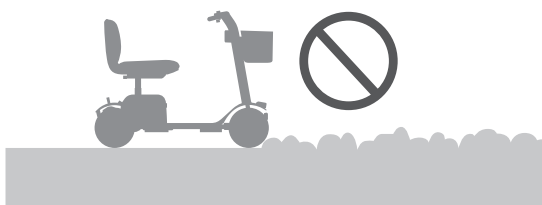
- 5° を超える傾斜地での斜め走行



- 10cm よりも幅広い溝



- 砂地や沼地などの柔らかい路面や、雪道や凍結した路面



5.5. ブレーキを解除する

リアカバー後方右側のブレーキ解除レバーを前方（開錠マーク位置）に動かすことで、本体を手押しで移動できるようになります。

警告



- ブレーキの解除は必ず平坦な場所で、電源を切ってから、必要な時のみ行ってください。手動での移動が完了したらすぐにブレーキ解除レバーを後方（施錠マーク位置）に動かし、ブレーキをかけてください。

ブレーキを解除すると本体が自由に動くため、思わぬ事故が発生するおそれがあります。



- ブレーキを解除した状態での、手動での坂道の上下りは行わないでください。

ブレーキがかけられないため、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

注意



- ブレーキ解除後に本体を押して移動させる時は、路面状態に気をつけて手でゆっくりと押してください。ブレーキを解除すると本体が自由に動くため、強く押すと思わぬ方向に動く可能性があります。また、6 km/h 以上の速度で本体を押すと、製品保護のため強いブレーキがかかり、使用者に危険が生じる恐れがあります。



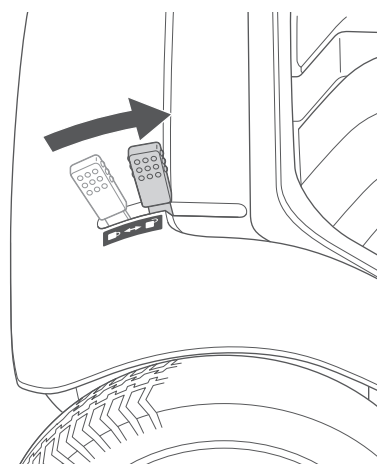
- ブレーキ解除レバーを足で操作しないでください。

ブレーキ解除レバーが、変形したり折れたりして使えなくなるおそれがあります。

5

5.5.1. 解除方法

1. ステアリングユニットのキーシリンダーについているキーが横になっていて、電源が入っていないことを確認します。
2. リアカバーの後方右側のブレーキ解除レバーを前方（開錠マーク位置）に動かします。ブレーキを解除することで、本体を手動で動かすことができるようになります。ブレーキが解除された状態で本体を電動で操作することはできません。



5.6. 荷物を持ち運ぶ

荷物を運搬する際は、変形や破損のおそれがあるためハンドルやアクセルレバー、バックサポートなどには袋やバッグなどを掛けないようにしてください。必ずバスケットや荷物フック（オプション）を使用してください。

警 告



● 以下に注意して、バスケットを使用してください。

思わぬ事故が発生するおそれがあります。

- バスケット内の側壁または側面の高さを超えないように、荷物を収納してください。
- 荷物の出し入れは、電源を切って、周囲の安全を確認して行ってください。



バスケットの最大積載量は 4kg です。耐荷重以上の荷物を収納すると、バスケットが破損する可能性があります。

6. 保管・運搬方法

6.1. 保管

本製品を保管する際は、以下にご注意ください。

- 火気の近くや可燃性ガスのある環境では保管しないでください。
- 温度 0 ～ 40℃の場所に保管してください。
- バッテリーおよび充電器は、充電指定温度である 0 ～ 40℃で保管してください。特にバッテリーは 20 ～ 30℃で保管いただくことで長持ちします。0℃以下で保管しないようにしてください。
- 屋内に保管、または屋根のあるところなど、雨水などのかからない環境で保管してください。
保管時は、ダストカバーを掛けることを推奨します。

警告



- バッテリーは直射日光が当たる場所や、40℃以上の場所に保管しないでください。
バッテリーが発熱、破裂、発火し、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

注意



- 長期間使用しない場合は、バッテリーを必ず満充電にしてから保管してください。また、少なくとも 1 カ月に 1 回は必ず充電し、充電器が満充電表示となってからさらに 4-6 時間充電してください。
バッテリーの劣化が蓄積され、使用できなくなる可能性があります。



- 埃や砂が多い場所、および海沿いや温泉地で長期間保管しないでください。
本体に異物が侵入したり、フレームやネジが腐食する可能性があります。
- 重いものを本体に載せたまま長期間保管しないでください。
本体が故障する原因となります。
- バッテリーや本体を傾いた場所、振動の多い場所に置かないでください。バッテリーを高い棚の上などに置かないでください。
バッテリーや本体が破損したり、変形するおそれがあります。
- バッテリーを取り外して製品を保管する場合は、バッテリーと本体の接続部に、異物や水分を侵入させないように十分にご注意ください。
バッテリーや本体がショートしたり、故障する原因となります。
- 直射日光や雨にさらされる屋外に、本体を保管したり、長時間放置しないでください。
雨水でバッテリーや本体がショートしたり、直射日光で本体が変形、劣化する可能性があります。屋内など屋根のある場所に保管してください。

■ 長期間保管する場合

少なくとも 1 カ月に 1 回はバッテリーを充電し、本体が正常に動作することを確認してください。

長期間使用しなかった本製品を再び使用するときは、使用する前にバッテリーを充電し、必ず本製品が常かつ安全に動作することを確認してから使用してください。バッテリーは 0℃以下の環境で保管しないでください。

6.2. 運搬

本製品を運搬する際は、以下にご注意ください。

- 持ち上げるときは、3人以上で、必ず指定箇所を持ってください。
- 固定するときは、必ず指定箇所を固定してください。
- 航空輸送については航空会社に事前にハンドル型電動車椅子の輸送の可否、および方法などをご確認ください。

⚠ 警告



- 人や物を乗せた状態で、製品を持ち上げたり、車両に積み込んだりしないでください。
体を痛めたり、落として怪我をしたり、製品が破損したりするおそれがあります。
- 本製品を自動車などの座席として使用しないでください。
製品が破損したり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。右の記号は、
本製品が自動車などの座席としては使用できないことを示しています。



⚠ 注意



- 本体の運搬にリフトを使用する場合は、本製品にブレーキをかけ、きちんと固定してください。
落下して、本体が破損する可能性があります。
- 本製品を車両に積み込んだ後は、必ずブレーキをかけた状態で指定の方法で固定してください。
製品が破損したり、転倒するおそれがあります。

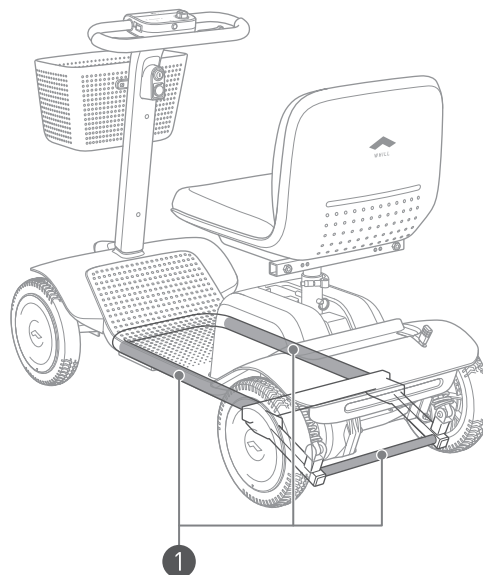


- 重いものを本体に載せたまま運搬しないでください。
本体が故障する原因となります。
- クレーンで本体を持ち上げないでください。
落下して、本体が破損する可能性があります。
- 荷物をけん引しないでください。
製品が破損したり、転倒するおそれがあります。

■ 持ち上げ

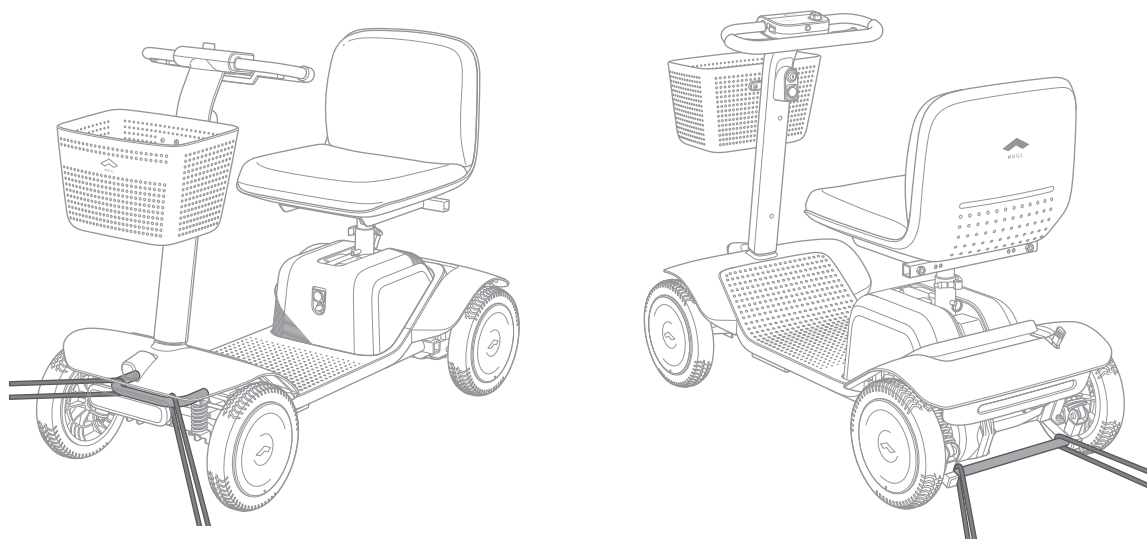
持ち上げるときは、3人以上で指定した箇所（右図 ①）を持つようにしてください。

人が乗車した状態で持ち上げないようにしてください。



■ 固定

固定は、本体フレーム内で指定の4ヵ所を（フロントフレーム2ヵ所、リアフレーム2ヵ所）を使って行ってください。ロープなどで本体が損傷することがないように、固定先がフレームの高さより低い位置になるようにしてください。



フロントフレームおよびリアフレームの左右部分

■ 車両積み込み

6

荷台への積み下ろしなどはアルミ板などのスロープを使用してください。ハンドルで進行方向を操り、本体がスロープ板から落ちないように十分注意して作業してください。乗車しての積み込みはおやめください。

7. 保守・点検

警 告



- 本書で説明されていない部位についての調整、修理または改造は行わないでください。怪我をしたり、本体や部品が損傷して製品の安全性に重大な影響を与えるおそれがあります。また、本書に記載されていない内容の修理や改造を行った場合、保証の対象外となる場合があります。



- ご自身で各部の調整やお手入れができない場合は、取扱店にお問い合わせください。トレーニングを受けたスタッフが、安全に配慮したメンテナンスを行います。
- メンテナンスマニュアルは個人のお客様には配布しておりません。

7.1. お手入れ

本体のお手入れは、以下のように行ってください。

- 外装やタイヤの汚れが目立つ場合は、濡れたタオルで拭き取るようにしてください。タイヤを水洗いするときは、注意して行ってください。
- 汚れがひどい場合は、石油系溶剤の使用は避けて、中性洗剤を使用してください。
- 高圧洗浄は行わないでください。
- 前輪と後輪は溝の深さが約 0.5 mm になったら交換してください。

警 告



- タイヤ以外の部品および本体は水洗いしないでください。感電、ショート、腐食するなどして、故障の原因となります。

注 意



- お手入れの際にシンナー、ベンジンなどの有機溶剤を使用したり、高圧洗浄を行ったりしないでください。変色、変形、劣化、破損などの原因となります。
- コントローラーの表面の汚れは、眼鏡拭きなどの柔らかい布でふいてください。かたい布などで拭くと、画面が傷つくおそれがあります。
- 本体の可動部や接合部に市販のグリースや油性の防錆剤、ワックスなどを塗布しないでください。べたつきなどで砂利など異物が本体に入り込み、本体が故障するおそれがあります。

7.2. 点検

本製品を長くお使いいただくために、取扱店による本製品の点検を定期的（半年に 1 回程度）に行うことをお勧めします。詳しくは、取扱店または WHILL コンタクトデスクにご相談ください。

7.3. 製造者・取扱店が行う修理・メンテナンス・部品交換

修理・メンテナンス・部品交換が必要な場合は、取扱店または WHILL コンタクトデスクにお問い合わせください。

警 告



- 使用中に異常を感じた場合は、ただちに使用を中止し、取扱店または WHILL コンタクトデスクまでご連絡ください。
故障した状態で使用を続けると、怪我をしたり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

注 意



- 部品が摩耗したり、交換が必要な場合は、取扱店にご連絡ください。
製品が損傷したり、操作ができなくなる可能性があります。

7.4. 廃棄について

本体、および部品を廃棄する際は自治体のルールにしたがって捨ててください。バッテリーについては取扱店または WHILL コンタクトデスクにご相談ください。

不明なことがある場合は、取扱店または WHILL コンタクトデスクにご相談ください。

7.5. 保証について

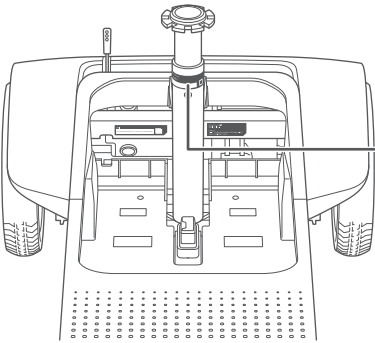
Model S 製品保証については、保証書をご確認ください。

7.6. 製造年月日の確認方法について

■ 本体

基本情報ラベル（16 ページ参照）に記載された製造番号の末尾から 5 桁目～7 桁目をご確認ください。

表記内容	年	月
表記箇所	末尾から 6 ～ 7 桁目	末尾から 5 桁目
表記方法	20 : 2020 21 : 2021 22 : 2022 23 : 2023 24 : 2024	1 ～ 9 : 1 月～ 9 月 A : 10 月 B : 11 月 C : 12 月



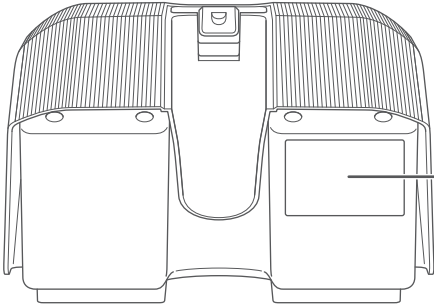
年 月
SA1207J22A0123

Model S Series
SN 製造番号
SA1207J22A0123

■ バッテリー

バッテリーの基本情報の白枠内に表記された製造番号の末尾から 5 桁目～7 桁目をご確認ください。

表記内容	年	月
表記箇所	末尾から 6 ～ 7 桁目	末尾から 5 桁目
表記方法	20 : 2020 21 : 2021 22 : 2022 23 : 2023 24 : 2024	1 ～ 9 : 1 月～ 9 月 A : 10 月 B : 11 月 C : 12 月



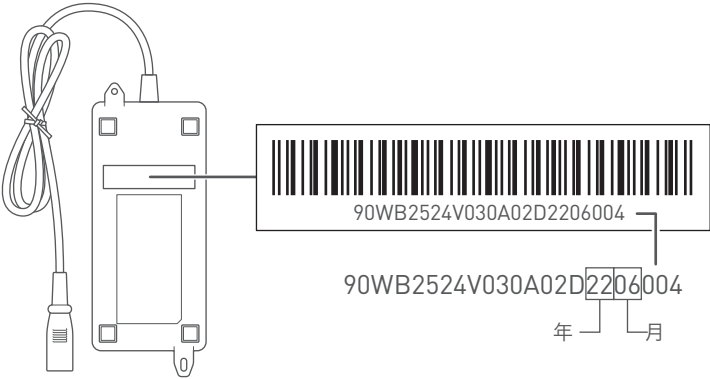
年 月
4E7022A0001

Model S series
PN:
BT-SN: 4E7022A0001
BT1 lot:
BT2 lot:

■ 充電器

充電器のラベルの白枠内に表記された製造番号の末尾から 4 桁目～ 5 桁目、6 桁目～ 7 桁目をご確認ください。

表記内容	年	月
表記箇所	末尾から 6 ～ 7 桁目	末尾から 4 ～ 5 桁目
表記方法	20：2020 21：2021 22：2022 23：2023 24：2024	01 ～ 12：1 月～ 12 月



90WB2524V030A02D2206004

90WB2524V030A02D2206004

年 月

8. トラブルシューティング

警報音が鳴って走行できない場合、まず以下の3点を確認し、該当する場合は対処してください。

1. ブレーキ解除レバーが解除されっぱなしになっていないか。
2. 充電器を挿したまま走行させようとしていないか。
3. バッテリー残量が非常に低下していないか。

本体に異常や障害が生じた場合は、現象・原因によって、コントローラーユニットの電源ランプが所定の回数連続点滅し、同回数の警報音が鳴ります。下表は、点滅回数・警報音の鳴り方と、現象・原因と対処方法を示しています。もしも、対処を行っても回復しない場合は、使用を中止し、取扱店または WHILL コンタクトデスクにご連絡ください。また、以下に記載がない現象も、取扱店または WHILL コンタクトデスクにご連絡ください。

電源ランプ点滅回数 & 連続警報音の鳴り方	現象・原因と対処方法
点滅回数：1回点滅の繰り返し 警報音：ピッの繰り返し ピッと1回（0.3秒間）鳴ったのちに、1.7秒の無音状態があり、その後改めて、警報音が鳴る。	バッテリー残量が低下している状態（バッテリー残量が少ないか、過放電の状態）を示しています。 → 近くの安全な場所に移動させ速やかに充電してください。充電時は電源を OFF にしてください。
点滅回数：2回点滅の繰り返し 警報音：ピッピッの繰り返し ピッと1回（0.3秒間）鳴った後のち、すぐ（0.7秒後）2回目のピッ。次の2回は1.7秒後に鳴る。（以下同）	バッテリー残量が無くなり、走行不能状態を示しています。 → ブレーキ解除レバーを解除し、近くの安全な場所に移動させ速やかに充電してください。充電時は電源を OFF にしてください。
点滅回数：3回点滅の繰り返し 警報音：ピッピッピッの繰り返し	バッテリーの電圧が高いことを示しています。原因としては、①専用の充電器を使用していないことから起きるケースと、②急勾配または距離の長い下り坂を走行することでバッテリーに負荷がかかるケースがあります。 → ①充電器が本体に繋がれている場合は、専用充電器かどうかを今一度確認してください。 ②下り坂を走行している場合は、速度を落としてください。
点滅回数：4回点滅の繰り返し 警報音：ピッピッピッピッの繰り返し	路面状態などの条件で、走行に大きな負荷がかかっていることを示します。そのまま負荷をかけ続けると、徐々に停止します。 → 坂道やでこぼこ道を移動している場合は速度を落としてください。
点滅回数：5回点滅の繰り返し 警報音：ピッピッピッピッピッの繰り返し	電源が入った状態で、ブレーキを解除していると警報および電源ランプが点滅します。 → 電源を OFF にしてください。ブレーキ解除レバーを施錠位置にして、電源を ON にしてください。
点滅回数：6回点滅の繰り返し 警報音：ピッピッピッピッピッピッの繰り返し。	充電器の接続中や、アクセルレバーを引いた状態で電源を ON にすると、警報および電源ランプが点滅します。 → 電源を OFF にしてください。走行する場合は、充電器を取り外し、アクセルレバーから手を離れた状態で電源を入れてください。

電源ランプ点滅回数 & 連続警報音の鳴り方	現象・原因と対処方法
点滅回数： 7回（8回）点滅の繰り返し 警報音： ピッピッピッピッピッピッ ピッ（ピッ）の繰り返し。	配線に異常がある可能性があります。 → 電源を OFF にし、再度電源を ON にしてください。
点滅回数： 9回点滅の繰り返し 警報音： ピッピッピッピッピッピッ ピッピッピッの繰り返し。	モーター制御ユニット内部異常の可能性があります。 → 一旦、電源を OFF にし、再度電源を ON にしてください。

■ブレーカーが落ちた場合の対応

- 走行中に過電流などの理由で電源が落ちた場合は、本体が停止し、バッテリーのブレーカーが飛び出します。電源を OFF にし、ブレーカーを押し込んだ後、再度電源を入れてください。
- ブレーカーを押しても復旧しない場合は、本体に内蔵されているヒューズが切れた可能性があります。ご自身でヒューズ交換はできませんので、取扱店、または WHILL コンタクトデスクにお問い合わせください。

9. 仕様・寸法

9.1. 仕様

テストダミーの質量：100kg

■ 本体

製品名称	WHILL Model S
使用者最大重量	100 kg（乗員・荷物含む）
移動方式	二輪駆動
速度切り換え	無段階
ブレーキ方式	電磁ブレーキ
前輪タイプ	ノンパンクタイヤ・外径 265 mm
後輪タイプ	ノンパンクタイヤ・外径 265 mm
航続距離※ 1	33 km
最大許容傾斜	10°
障害物乗越高さ	75 mm
溝の踏破幅	100 mm
最高速度（前進時）	6 km/h
最高速度（後進時）	2 km/h
最小回転半径	1480 mm
最大制動距離	930 mm
使用環境	-15 ～ 40° C
ホイールベース	896 mm
アクセルレバーの操作力	1.2N
バッテリータイプ	鉛蓄バッテリー
公称電圧	24 V（12V × 2 個）
定格容量（5 時間率）	22.6 Ah
本体のノイズレベル	通知音を除き 65 dB 以下
製造者名 / 製造者住所	WHILL 株式会社 〒140-0002 東京都品川区東品川 2 丁目 1 番 11 号

※ 1 航続距離は JIS T 9208:2016 で定められた条件で測定した値です。航続距離は使用環境や操作方法等により変化します。

■ 充電器（専用）

定格電源	100-240 V、50/60 Hz
定格直流出力電流	標準充電器：3A 急速充電器：5A
定格直流出力電圧	標準充電器：24 V 急速充電器：24 V
充電環境	0 ~ 40° C
充電時間（100%）	標準充電器：9 時間 40 分 急速充電器：6 時間 40 分
コネクタピンの割り当て	Pin1: + 端子
	Pin2: - 端子
	Pin3: - 端子
充電器のタイプ	定電流 / 定電圧方式
使用者が操作可能な保護ヒューズの定格電流	当該ヒューズなし
製造者名 / 製造者住所	High Power Technology (KUNSHAN) INC. 中国江蘇省昆山市陸家鎮順鐵路 99 号 威人科技産業園 3 号場房

9.2. 寸法

項目	最低値	最高値
全長（バスケット含む）	1158 mm	1198 mm
全幅（アームレストを含む）	551 mm	640 mm
全高	905 mm	915 mm
本体重量（バッテリーとアームレストを含む）		67 kg
本体重量（バッテリー含まず）		52 kg
バッテリー重量		15 kg
座面角度		0°
有効座面長さ		424 mm
有効座面幅		438 mm
座面端の地上高	485 mm	545 mm
フロアから座面端までの高さ	322 mm	382 mm
バックサポート角度		93.2°
バックサポート高さ		371 mm
バックサポート幅		427 mm

10. 索引

E	
EMI	12
あ	
アクセサリ	17
アクセルレバー	15, 46, 50
安全上のご注意	6
い	
移動	6, 10, 68
う	
運転	6, 8, 50, 54
運搬	56, 58, 59
お	
お手入れ	62
お問合せ先	74
か	
各部のはたらき	14
各部の名称	14
き	
キーシリンダー	15, 47
く	
クッション	20
組立	11, 18
組立方法	20
クッション	27
シート	27
シャフトカバー	23
シャフトフロントカバー	19
シャフトリアカバー	19
ステアリングユニット	19, 21
バスケット	19, 25
バッテリー	11, 19, 26
け	
警告ラベル	13
警報音	66
こ	
工具	20
後輪	15, 45
コントローラー	15
コントローラーユニット	15

さ	
最高速度	46
サウンドボタン	15, 45, 49
し	
シート	27, 29, 31
シートクッション	27
シートフレーム	20
シートポスト固定ピン	15, 30, 40
シートポスト固定レバー	15, 30, 39
充電器	36, 65
充電コネクタ	36, 39
充電方法	37, 38, 39
充電ポート	15, 36
充電ポートカバー	36
充電ランプ	39, 42
修理	63
仕様	68
乗車	8, 46
乗車前点検	45
シリアルナンバー	16
す	
寸法	70
せ	
製造年月日	64
製品情報	16
前輪	15, 45
そ	
操作方法	44, 52
速度調整ダイヤル	15, 46, 50
ち	
調整	11, 18
調整方法	28
シートの前後位置	31
シートの高さ	29
速度の調整	49
フロントライト	33
て	
点検	63
電源ランプ	15, 66

電源を入れる.....	47
電磁波干渉.....	12
と	
トラブルシューティング.....	66
は	
バスケット.....	56
バックサポート.....	56
バッテリー.....	15, 26, 34, 36, 48, 64
充電.....	34
充電ランプ.....	36
バッテリーコネクタポート.....	34, 36
バッテリー残量表示.....	15
バッテリーハンドル.....	36
ハンドル.....	15, 46, 53
バンパー.....	15
ふ	
部位の名称.....	18
部品が摩耗したり、交換が必要な場合.....	63
部品交換.....	63
踏切.....	10
ブレーカー.....	36, 67
ブレーキ.....	18, 37, 45, 46, 47, 50, 52, 59, 68
ブレーキ解除レバー.....	10, 15, 47, 50, 51, 55
ブレーキの解除.....	47, 55
フロアカバー.....	15
フロントカバー.....	15, 46
フロントライト.....	15, 48
フロントライトスイッチ.....	15
ほ	
防水.....	44
保管.....	58
保守.....	62
め	
メンテナンス.....	63
ら	
ラベル.....	13, 16, 64, 65
り	
リアカバー.....	15, 46
リアライト.....	15
ろ	
路面条件.....	54

11. お問い合わせ先

お買い上げ時の取扱店が、修理・メンテナンス・部品交換、および不明点のご相談をお受けいたします。また修理の際の代車の有無についても、取扱店にお問い合わせください。製品の保証の詳細については、取扱店にお問い合わせください。また、製品の安全に関する注意事項や製品リコールに関する情報について連絡を差し上げる場合がございますので、最新の連絡先を取扱店にお知らせください。

■ 取扱店

■ 製造販売元

WHILL 株式会社

住所：〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目1番11号

お問い合わせ（WHILL コンタクトデスク）：

0800-080-4338（IP 電話の方：050-3085-9840）

ウェブサイト：<https://whill.inc>

